The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 26 | Issue 4 | June 2023

今号では・・・

▶02...新校舎建設Update!
▶05...バランスのとれた行動を
▶07...G5ショートストーリーコンテスト
▶08...さくらメダル読書感想文コンテスト
▶10...模擬国連イベント
▶13...スクールカレンダー2023–24
▶14...Connect to Hisaichi
▶17...スペリング・ビー
▶20...ブルームバーグ本社訪問
▶21...ワールドブックデー
▶22...実戦的な調査
▶31...Turnitin Draft Coach

> 人生の目的は、
> 目的のある人生を
> 送ることだ。
> —Author unknown

学校長より

ChatGPTと教育

2022年末、リサーチ会社OpenAIによってChatGPTがローンチされました。この新しい人工知能ツールの利用性はやや二極化しており、一部で恐れられている一方で、受け入れたいと考える人もいるようです。今回は、ChatGPTが教育に与える影響と、親として知っておくべきことをお話しします。

ChatGPTとは？

ZDNETによると、ChatGPTは“AI技術によって実現された自然言語処理ツールで、チャットボットと人間のような会話やそれ以上のことをすることができます。”ということです。自然言語を理解して応答することができるため、言語翻訳、質問への回答、テキスト補完などのタスクに役立ちます。

ChatGPTは、教育現場において、以下のような様々な用途で学生に利用されています。

- 新しいアイデアの創出
- 問題解決支援
- 電子メールの作成
- 要約と言い換え
- 練習問題の作成

ChatGPTを学生が利用する際の懸念事項として、盗用や 学業への誠実さが挙げられます。学校ではさまざまなAI検出アプリケーションが提供されていますが、私たちは、学生がまず学習し、アカデミック・インテグリティを示すことが必要だと考えています。悪意を持ってAIを使用する生徒を捕まえるのではなく、学習効果を高める形で、責任感を持ってAIを使用することを学んでもらうことが目的なのです。IBは、AIの使用を禁止するのではなく、学校と協力して、学生たちがアカデミック・インテグリティの原則に沿って倫理的にこれらのツールを使用する方法を支援することを表明しています。ChatGPTに関するIBの声明は以下をご覧ください。

Web https://www.ibo.org/news/news-about-the-ib/statement-from-the-ib-about-chatgpt-and-artificial-intelligence-in-assessment-and-education/

ChatGPTのようなAIソフトウェアの登場により、私たちは教育の新時代を迎えています。アカデミック・インテグリティの懸念は妥当ですが、AIが学習を向上させる可能性があることを指摘することは重要です。

次のページに続く

重 要 な 日 程

2023年6月

14 Last day of school for students (Half day for students)
14 (K1-G11) Semester 2 reports issued
14 (K1-G3) After care not available on this day
15-30 Office open
19-30 Summer program session 1

2023年7月

1-30 School closed
31-Aug 11 Summer program session 2

2023年8月

17 (K1/K2/K3) Parent welcome night
21 First day of school for all students
21 (K2-G3) After care begins this week
21 (G6-G10) Mathematics diagnostic assessments (*Afternoon)
21 (K2-G3) After care begins this week
21-23 (G12) DP diagnostic exams
23 (G1-G5) Parent welcome night
25 (G6-G12) Parent welcome night
26 SAT@KIST
30-Sep 1 (G11) Camp

2023年9月

4 (K1) After care begins this week
4 (G1-G5) Semester 1 LEAP classes begin this week

WE ARE A CIS ACCREDITED SCHOOL

前ページの続き

例えばペンシルベニア大学では、教授がChatGPTを使用して学習活動を作成したり、プロジェクトベースの学習シナリオを作成することを提案しています。また、生徒の興味に基づき、さまざまなレベルの教材を作成することも可能です。教育関係者なら誰でも知っているように、どの生徒に対しても、同一の題材をもとに、レベルに合わせて適切な教材を提供することは、常に課題となっています。

夏休みに入り、多くの方がリラックスして自分の趣味や習い事に打ち込める自由な時間が増えることを願っています。AI技術を使った学習方法についてもっと知りたいという方には、Khan Academyの創設者兼CEOであるSal KhanのTED Talkをぜひ見ていただきたいと思います。Khanmingoと呼ばれる学習ガイドを通じて、生徒の学習をサポートするためにAIを適用している方法は、非常に興味深いものです。

Web https://www.youtube.com/watch?v=hJP5GqnTrNo

皆様が安全で充実した夏休みを過ごせることを祈っています！

Kevin Yoshihara
Head of School/Elementary School Principal

参考資料:

- *What is google bard? here's everything you need to know*. ZDNET. (n.d.). https://www.zdnet.com/article/what-is-google-bard-heres-everything-you-need-to-know/
- IBO. (n.d.). *Statement from the IB about CHATGPT and artificial intelligence in assessment and Education*. International Baccalaureate. https://www.ibo.org/news/news-about-the-ib/statement-from-the-ib-about-chatgpt-and-artificial-intelligence-in-assessment-and-education/

新校舎建設Update！

皆さまにはすでにE-Communicationsで遅延の理由を説明しておりますが、新校舎建設は約2週間の工事遅れに伴い、引越が11月中旬に変更となりました。
今後も安全優先で完成に向けて工事を進めていまいります。

3月末時点の様子

5月末時点の様子

今回は、新校舎建設について生徒にインタビューをしてみました(質問：新校舎の何が楽しみですか？)

Ann (G6A)
- 校庭が広くなる。体育館が大きくなること、トイレがきれいになること、床がギシギシ言わなくなること！
- どんな感じのビルになるのか楽しみです

Edward (G9B)

- 体育館が戻ってくる！
- トイレがきれいになること
- 広く新しい校舎、充実した施設での学生生活が楽しみ。明るい未来を導いてくれる校舎になると良いと思う

Taiga (G5B)

- 来年からG6になり、教室など新しい施設をすべて使えるのでうれしい
- 体育館や校庭が広くなると聞いているので、今まで以上にスポーツやアクティビティができるようになること

Lia (G4B)
- 体育館が新しく大きくなこと
- 校舎が大きくなり、より多くの人が使えるようになること

最後に、今週配布した「2023–24年度KISTカレンダー」でお気付きになっているかもしれませんが、2024年6月15日（土）に、「新校舎オープン記念式典」を開催します。新校舎自体は2023年11月から使用を開始しますが、新校舎完成の正式なお祝いは、できる限りたくさんのスクールコミュニティの皆さんと一緒にお祝いしたいので、卒業生を含め海外から日本に帰国する/家族を訪問する時期に合わせて、あえて遅らせて上記日程で開催することにしました。在校生から卒業生まで、多くの皆さんと一緒に楽しめるイベントにしたいと考えています。ぜひ今から2024年6月15日は『KISTイベント！』と、カレンダーにマークをしてください！　在校生、卒業生、転校した生徒、そしてそのご家族の皆さまと一緒に楽しみましょう！ イベントが近くなりましたら正式にご招待をお送りします。

理事長よりご挨拶

先日6月2日、G12の生徒たちの卒業式が行われました。卒業生の皆様、おめでとうございます！卒業式前日、ガウンを纏った生徒による校内パレードが行われ、在校生やスタッフは、盛大な拍手で彼らを送りだしました。今年の卒業生は、幼稚園からKISTに通っていた生徒が多かったため、当時担当していた教員などが、ガウン姿を見て感動していました。一貫校ならではですね。卒業生の皆様の今後の活躍を期待しています。

さて、学校のミッションの中核は、「学習に意欲的な子どもたちに質の高い教育を提供し、国際社会に貢献する学力的にも人格的にも優れた有能な若者を育成する」事です。理事会は、ミッションなどの学校の方針に沿って運営が行われているかを、常に検証する責任があります。KISTでは、ミッションの一つである、学力的に優れた若者を育成しているかどうかを、各オフィシャルテストを採用し、生徒の学力を測り検証しています。

先日、G1からG5を対象にイギリスのカリキュラムを基に作られたGLのオフィシャルテストが行われました。エレメンタリーの最終学年であるG5の結果をご報告いたします。尚、G5の生徒は、英語はイギリスと同学年レベル、算数はイギリスより一学年上のレベルのテストを受験しています。GLのテストは9点満点で、イギリスの公立校では4点から6点がMeeting expectations（期待値）で、7点以上がExceeding expectations（期待値以上）です。当校は、教育目標や生徒層が英国の教育システムとは異なるため、KISTでの英語及び算数のMeeting expectationsは英国の公立校のものより高く設定されており、6点がJust meeting expectations、7–8点がMeeting expectations、9点がExceeding expectationsとなっています。

G5の英語GLの結果は以下の通りです。

Stanine score	取得比率
9	16%
7以上	70%
6以上	84%
4以上	98%

KISTでは、84%の生徒がJust meeting expectations以上、Exceeding expectationsの生徒が16%となりますが、イギリスの公立校の基準ですと98%の生徒がMeeting expectations以上、70%の生徒がExceeding expectationsとなります。

G5の算数GLの結果は以下の通りです。

Stanine score	取得比率
9	39%
7以上	89%
6以上	99%
4以上	100%

前述した通り、一学年上のテストを受けているにも関わらず、39%の生徒が満点を取り、99%の生徒がJust meeting expectations以上となりました。

紙面の都合上割愛させて頂きますが、同じくG1からG4の生徒達も素晴らしい学習成果を上げています。これらの結果は、生徒たちの努力に加えて、献身的な教員やサポートスタッフ、保護者のサポートから得られたことだと思います。理事会を代表し、皆様に感謝申し上げます。

それでは、良い夏休みをお過ごしください！

Takako Komaki
Board President/Associate Head

幼児教育ニュース

KIST Familiesの皆様、こんにちは！日々暑さが厳しくなり、夏がすぐそこまで来ている感じですね。一年が経つのは本当に早くて、今月号が、今年度最後の*The Comet*となります。今年度後半からコロナに関する規制も少しずつ緩くなり、ようやく長い冬眠から目が覚めた気分です。今回はK1からK3の先生方に、一年を振り返り、楽しかった行事について書いてもらいました。遠足に行ったり、マスクをしていない子ども達の笑顔が見られたり、たくさんの保護者の皆さんに学校へ来てもらえたりしました。

今年度、子ども達がこれらの行事のみでなく、日々の園生活を楽しむことができたことを願います。皆さんが楽しい夏休みを過ごすことができますように。

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1–K3)/K2A Teacher

K1

Pyjama Day

K1クラスの子ども達はパターンについて学び、自分たちの周りにあるパターンを探しました。私たちの大好きなパターンをお友達や先生に見せるために、教室でパジャマパーティーを開きました。自分のお気に入りのパジャマを着て、ファッションショーを開き、自分のパジャマをみんなに紹介し、そして、ポップコーンを食べながら、みんなで映画も見ました。

Pirate Day

K1の子ども達が学んでいるUOIの交通手段をより楽しいものにするために、K1クラスの子ども達は海賊の日に参加しました。クラスの中で、海賊たちはどうやって旅をするのか、どんな交通手段を使うのか、私たちの周りにある大きな船と、海賊船はどのように異なるのかなどを話し合いました。子ども達は今まで習ってきた'形'に関する知識を生かし、色画用紙を使って自分たちの海賊船を作り、本物の海賊になって宝探しへと出かけました！

K2

100th Day of School

2月8日、K2の生徒達はK2クラスになって100日目の登園日をお祝いしました。算数で習っていることと合わせて、100個のスタンプを押したり、紙コップで100個のタワーを作ったり、100個のKAPLAを使って建物を作ったりしました。そして、K2クラスでの楽しかった思い出の写真を使って100日間の思いでポスターを作りました。K2クラスになってからの素敵な100日間を振り返るとともに、100日分賢くなったことを祝う一日となりました。

Theatre Show

Storytellingのユニットの最後に、K2クラスではお友達や保護者の方々を招待して、K2 Theatreにて自分たちの劇を披露しました。K2の子ども達はこのユニットでお話には出演者、設定、あらすじがあることを映画や本など色々なメディアを通して学びました。子ども達は自分たちの学んだ事を使いながら全く新しいお話を作ったり、三匹の子ぶたや三匹のガラガラドンなどの有名な話をアレンジするなどして、自分たちの劇を作り上げました。そして、自分たちで必要なお面をつくったり、舞台に必要な小道具、大道具も作ったりしました。K2劇場でみんな楽しく発表することができました。

K3

Water Science Museum

K3Bは5月に、水の科学博物館へ楽しい冒険の旅に出かけました。子どもたちは、普段の生活や環境における水の重要性について魅力的な事実を学び、大喜びでした。水の様々な段階、生態系における水の重要性、そして水がどのように浄化されるかを知ることができる有意義な機会となりました。博物館の展示は非常に魅力的で、体験型であったため、記憶に残る体験となりました。この遠足を通じて、子どもたちは、生命と地球を維持するためにいかに水が不可欠なものであるかを理解することができました。この遠足は、子どもたちの心に長く残る、楽しくて学びになるものだったでしょう！

Ainu Cultural Exchange Center

K3は、人が自然環境とどのように関わり、大切にしているかを探求してきました。このユニットでは、まず、自分たちが毎日必要とするものがどこから来るのかについて考えました。最も一般的な答えは「お店から」でしたが、ユニットを通して、私たちが使うものはすべて、元々自然環境から来ていることを理解し始めました（例えば、歯ブラシはお店で買うものですが、元々は自然界にある石油から作られるプラスチックでできています）。また、先住民のコミュニティが自然環境とどのように関わり、大切にしているのかを探りました。生徒たちは、このようなコミュニティと自然とのつながりは、もっと深いものであることに気づきました。また、自然からの贈り物を尊重し、感謝を忘れないことを学びました。先住民族についてより深く知るために、K3はアイヌ文化交流センターを訪れ、アイヌの伝統楽器である「ムックリ」を体験しました。

バランスのとれた行動を

今年度も残りわずかとなり、いよいよ夏休みに入りますが、この機会にリラックスすることの大切さを改めてお伝えしたいと思います。副校長として、私はみなさんが勉強に打ち込んできた一生懸命さを評価し、今こそ充電し、くつろぎ、夏を最大限に楽しんでもらいたいと思います。

夏休みは、国際バカロレア（IB）学習者プロフィールの基本原則に基づき、リラクゼーションとリフレッシュをもたらすアクティビティに取り組むことができるまたとないチャンスです。リラックスを取り入れることで、以下のようなことを体得することができます。

- **バランスのとれた人**：この機会に、楽しい時間と自己啓発のバランスをとってみませんか。楽しみを感じられる活動をしながら、自分の健康管理と自己啓発に取り組んでみましょう。
- **振り返りができる人**：夏休みを利用して、これまでの学習の道のりを振り返ってみましょう。自分の長所や改善点を考え、次年度の目標を立てましょう。
- **心を開く人**：夏がもたらす多様な経験を積極的に取り入れましょう。自分が心地よいと感じるところから一歩踏み出し、新しい興味を探求し、旅行や読書、多様な背景を持つ人々とのつながりなどを通じて、異なる文化や視点に触れてみましょう。
- **思いやりのある人**：自分のためだけでなく、周りの人のためにも、優しさと気遣いを心がけましょう。大切な人と過ごしたり、友人と交流したり、地域社会の福祉に貢献する奉仕活動に取り組んだりしましょう。
- **探求する人**：休みの日でも好奇心と学習意欲を持ちましょう。自分の興味のあることを追求し、刺激的な本を読み、知的好奇心を刺激するようなテーマを探求してみましょう。

リラクゼーションを優先することで、IB学習者プロファイルの特性を体現し、夏休みを最大限に活用することができます。自分を休め、見つめ直し、成長させましょう。学校に戻ると、新たなエネルギー、より広い視野、そして学業や個人的に優れた成果を上げるための準備が整っているはずです。

皆様が楽しく、リラックスした夏を過ごせますように！

Clay M. Bradley
Elementary School Vice Principal/
Student Care Coordinator

エレメンタリーELS

家庭内での数学に関する話をサポートするバイリンガル数学用語集

https://steinhardt.nyu.edu/metrocenter/language-rbern/resources/bilingual-glossaries-and-cognates

この夏、White Rose Mathsの良質な算数教材をご家庭でご利用いただけるようになりました！これらの教材は英語で書かれていますが、上記のリンク先には、White Rose Mathsの数学の語彙を理解するのに役立つ、素晴らしいバイリンガル数学用語集があります。

お子さんと数学について話すときに、ご家族の母国語を使うことは、お子さんの概念の発達にとても役立つということを覚えておいてください。White Rose Mathの英語教材と母国語での会話を楽しむことは、お子様が数学の概念とその概念に関連する言葉を理解し、楽しみながら自信を持てるようにするための素晴らしい組み合わせです。

数学と言語学習についての詳しい情報は、以下のリンクをご覧ください。また、他に数学学習のための無料のバイリンガル資料がありましたら、ぜひ以下のメールアドレスにて教えてください。

- Moschkovich, J. (2013). *Principles for Mathematics Instruction for ELLs*. Stanford University. Retrieved from https://ul.stanford.edu/sites/default/files/resource/2021-02/2.Principles%20for%20Math%20Instruction%208-14-13.pdf
- https://www.kist.ed.jp/files/pdf/TheComet/The%20Comet_2016.12_E.pdf (p.10)
- https://www.kist.ed.jp/files/pdf/TheComet/The%20Comet_2022.03_E.pdf (p.5)

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator/G3 ELS Instructor
rachel.parkinson@kist.ed.jp

Math Glossaries
Elementary School Math

- Albanian
- Arabic
- Bengali
- Burmese
- Chinese (simplified)
- Chinese (traditional)
- Dutch
- French
- Fulani
- Greek
- Haitian
- Hindi
- Italian
- Japanese
- Karen
- Kinyarwanda
- Korean
- Kurdish (Kurmanji)
- Malay
- Mandinka
- Nepali
- Pashto
- Polish
- Portuguese
- Punjabi
- Romanian
- Russian
- Slovak
- Spanish
- Swahili
- Tagalog
- Thai
- Tibetan
- Turkish
- Twi
- Ukrainian
- Urdu
- Uzbek
- Vietnamese
- Wolof

PYPニュース

ご家庭でお子さんをサポートするための「書くことの6つの特徴」の活用法

今回の*The Comet* では、KISTのウェブサイトのCommunity portalに追加された新しいドキュメント、**KIST PYP Academic Handbook**にご注目いただきたいと思います。

長い夏休みを迎えるにあたり、多くの方がお子さんのライティングについてどうサポートしたらよいかを考えていらっしゃるかもしれません。短編小説を書く、友人や親戚に手紙を書く、日記をつける、といったアドバイスを受けたことがある人もいるかもしれません。それはそれでいいのですが、子どもの文章にどんなことを期待したらいいのかわからないかもしれません。

KISTでは、ライティング力を評価し、向上させるために広く使われているフレームワークである「書くことの6つの特徴（プラス1）」に基づいて指導していることはご存知でしょう。これは、ライティングの様々な側面を評価し、強化するための総合的な方法を提供するものです。各特徴を簡単にご紹介しましょう。

1. **アイデア：** 文章の内容や主要なメッセージに重点を置く特性です。表現されたアイデアのわかりやすさ、オリジナリティ、深さを評価するものである。
2. **構成：** 構成とは、文章の構成と一貫性のことです。よく構成された文章は、明確な序章、本文の部分、結論があり、アイデア間の切り替えもスムーズです。
3. **声：** 声とは、書き手のユニークなスタイルや個性を表します。語調や言葉の選び方、読み手に与える全体的な印象などを評価します。
4. **適切な語彙の選択：** この特性は、正確で適切な語彙を選択することに重点を置いています。読み手を惹きつけ、メッセージを効果的に伝えるために、生き生きとした表現で語ることを大切にしています。
5. **文章の流暢さ：** 章の流暢さは、文章のリズムと流れを表します。文型の豊富さ、長文と短文のバランス、全体的な読みやすさなどを評価します。
6. **規則：** 文法、句読点、スペルなどを指します。この特性により、文章が標準的な言語使用規則に従い、読み手を混乱させるような誤りがないことが保証されます。

プラス1の特性は「プレゼンテーション」で、文章の視覚的な要素を含めます。書式、体裁、全体的な見栄えなどが評価されます。

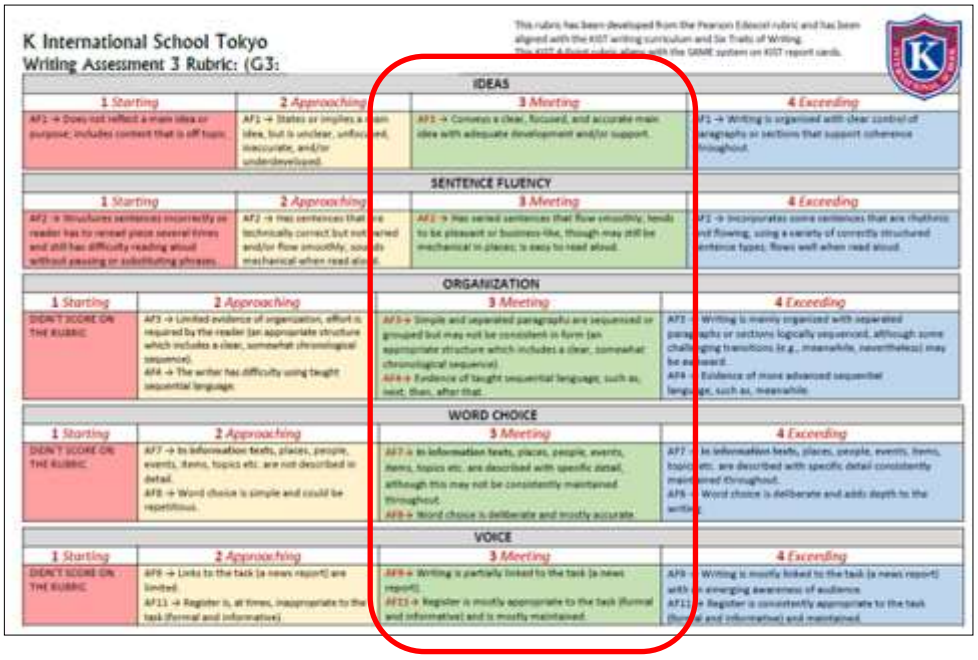
これらの特徴に重点を置くことで、書き手は自分の強みと改善点を明確にすることができ、より効果的で洗練された文章を書くことができるようになります。書くことの6つの特徴（プラス1）フレームワークは、あらゆるレベルの書き手がスキルを高め、高品質の文章を生み出すための貴重なガイドとなります。

言うまでもなく、学年によって何に気をつけるべきかは大きく異なることがあります。KISTでは、イギリスの教育課程の目標値と書くことの6つの特徴を組み合わせた独自のライティング評価指標を考案しました。お子さんの学習をサポートするために、これらの基準書はKIST PYP Academic Handbookの18～65ページに記載されています。18～45ページにホームルームの文章評価基準、46～65ページに日本語クラスの文章評価基準が記載されています。ホームルームでは、2つあるG1を除き、各学年で3つの評価基準（各ライティング評価に1つずつ）があり、それぞれの「評価の重点」がSAMEレベル分けをまたいで書かれていることがわかります。(本ページ下部の画像の例を参照)

お子さんをご家庭でサポートする際には、これらの評価基準は年度末の期待値であることを理解し、適切な評価基準を選択することが重要です。この夏は、お子さんが終了したばかりのクラスの評価表を使うことをお勧めします。

年度の途中で評価基準を変更することがありますが、ごくわずかであり、毎年夏に更新版がアップロードされることになっています。これらの資料は、お子さんのライティングをサポートする上で役に立つはずですが、楽しみながら取り組めるように工夫してあげてください。お子さんがある程度大きくなったら、お子さん自身が自分で評価をするように促し、その後、お子さんの考えについて話し合い、達成可能な目標を設定するのがよいでしょう。

Oliver Sullivan
PYP Coordinator


K International School Tokyo
Writing Assessment 3 Rubric: (G3:

	1 Starting	2 Approaching	3 Meeting	4 Exceeding
IDEAS	AF1 → Does not reflect a main idea or purpose; includes content that is off topic	AF1 → States or implies a main idea, but is unclear, unfocused, inaccurate, and/or underdeveloped	AF1 → Conveys a clear, focused, and accurate main idea with adequate development and/or support	AF1 → Writing is organised with clear control of paragraphs or sections that support coherence throughout
SENTENCE FLUENCY	AF2 → Structures sentences incorrectly so reader has to reread piece several times and still has difficulty reading aloud without pausing or substituting phrases	AF2 → Has sentences that are technically correct but not varied and/or flow smoothly; sounds mechanical when read aloud	AF2 → Has varied sentences that flow smoothly; tends to be pleasant or business-like, though may still be mechanical in places; is easy to read aloud	AF2 → Incorporates some sentences that are rhythmic and flowing, using a variety of correctly structured sentence types; flows well when read aloud
ORGANIZATION	DIDN'T SCORE ON THE RUBRIC	AF3 → Limited evidence of organization; effort is required by the reader (an appropriate structure which includes a clear, somewhat chronological sequence). AF4 → The writer has difficulty using taught sequential language	AF3 → Simple and separated paragraphs are sequenced or grouped but may not be consistent in form (an appropriate structure which includes a clear, somewhat chronological sequence) AF4 → Evidence of taught sequential language, such as, next, then, after that	AF3 → Writing is mainly organized with separated paragraphs or sections logically sequenced, although some challenging transitions (e.g., meanwhile, nevertheless) may be awkward. AF4 → Evidence of more advanced sequential language, such as, meanwhile
WORD CHOICE	DIDN'T SCORE ON THE RUBRIC	AF7 → In information texts, places, people, events, items, topics etc. are not described in detail. AF8 → Word choice is simple and could be repetitious.	AF7 → In information texts, places, people, events, items, topics etc. are described with specific detail, although this may not be consistently maintained throughout. AF8 → Word choice is deliberate and mostly accurate	AF7 → In information texts, places, people, events, items, topics etc. are described with specific detail consistently maintained throughout. AF8 → Word choice is deliberate and adds depth to the writing
VOICE	DIDN'T SCORE ON THE RUBRIC	AF9 → Links to the task (a news report) are limited. AF11 → Register is, at times, inappropriate to the task (formal and informative)	AF9 → Writing is partially linked to the task (a news report) AF11 → Register is mostly appropriate to the task (formal and informative) and is mostly maintained	AF9 → Writing is mostly linked to the task (a news report) with an emerging awareness of audience. AF11 → Register is consistently appropriate to the task (formal and informative) and maintained

G5ショートストーリーコンテスト

G5では、最後のユニットでショートストーリーコンテストを開催しました。生徒たちは、科学をテーマに500語以内の物語を書き、少なくとも1つの高度な句読点（コロン、セミコロン、ダッシュ、ハイフン、ブラケットなど）、拡大名詞句、相対節を含み、サスペンスを構築するよう求められました。

優れたプロットや、より高度な語彙、文法、句読点を使った素晴らしい作品がたくさんありました。コンテストの総合優勝は、**Taiga**、2位は**Max**、3位は**Ming**でした。

以下、タイガのショートストーリーをお楽しみください。

Chloe Kniveton
G5A Homeroom Teacher

The 119th Element

10...9...8...7...6...alarms were blaring a deafening sound as panic spread across the room. But before I destroy the world, let me take you back a few days.

3 days earlier...
I had finally done it. I, James Hubble, and my team discovered what no one ever has—the 119th element. A plethora of scientists had believed that after the 118th element, that the Periodic Table was complete; yet we had discovered, "Energenium". Energenium is so powerful that it could power the entire world for a decade, and I have discovered it! I work at the Large Hadron Collider (LHC)—the world's largest particle accelerator—in Geneva, Switzerland. It is a 27-kilometer long, circular tube wrapped in magnetic coil, 100 meters underground, with machines and detectors everywhere. At this very facility, on November 7, 2023, I discovered Energenium—that's pretty amazing.

The team decided that we would launch Energenium into the world on November 10th a.k.a., World Science Day. Our finding took the media by storm: every news station wanted front row seats for our launch, offering millions. During that time, we were as busy as bees preparing for the launch. Everything had to be perfect.

November 10, 2023
The big day had arrived. My anxiety was like an anchor dragging me down. The huge, historical machine looked as good as ever. It was now officially one-hour before launch. We had checked, double-checked, and triple-checked everything; we couldn't be more prepared. Now all we had to do is wait.

We had the timer set to release Energenium at exactly 14:00 in Switzerland. There was no turning back now. Everything was going to be perfect. Or so we thought...

With only 10 minutes left, Energenium sped around the accelerator: the entire world was on their feet eagerly awaiting release. Then, suddenly, as if on cue to the timer hitting 9 minutes, the accelerator started shaking violently. The converters used to safely transfer the energy had been overloaded. If Energenium was released now, it would cause a massive explosion; destroying the world. How could I have missed this?

There was no time to waste. The world watched in horror as we tried to stop the launch. The tension in the room was unbearable. This was the end. I would be the one who destroyed the world. There was only 1 minute left. That was when I got it! If we launch Energenium into space and away from Earth, there just might be a chance. 10...9...8...7...6...alarms were blaring a deafening sound as panic spread across the room. I worked as hard as I could to try and change the launch trajectory. Would this work, there was only one way to find out.

3...2...1...! It had happened, yet we were all still alive. Thanks to my split-second thinking, the world had been saved. Although we were unable to launch Energenium (for now), we could always try again. The world is safe, and that's important.

10 years later…
Energenium has just been launched for the second time, and this time nobody came close to dying. We had upgraded the converters 10-fold to make sure it could contain Energenium. The world has now been powered for a decade, and I can officially say I have changed the world.

Taiga (G5B)

2022–23年度さくらメダル読書感想文コンテスト

本年度もインターナショナルスクール日本語教師会により「第14回さくらメダル読書感想文コンテスト」が開催されました。本校からは、低学年の部に5名、高学年の部に3名の作品を応募しました。

審査の結果、高学年の部では、優秀賞に**Amane**（G4B）、努力賞に**Takuto**（G4A）が選ばれました。そして、低学年の部では、優秀賞に**Masayuki**（G3A）が選ばれました。おめでとうございます。

高学年の部

Takuto (G4A)

Sho (G4A)

Amane (G4B)

低学年の部

Masayuki (G3A)

Erika (G3A)

Sara (G3B)

Lia (G3B)

Arisu (G3B)

制服：Liaはアクションを起こす

この学校に来たとき、私は制服のことをあまり考えていませんでした。誰もが何かを着る必要があって、自分の意志で着るものなんて考えもしませんでした。でも、年齢が上がるにつれて、男の子でも女の子でも、何を着てもいいんだなって思うようになりました。そこで疑問を持つようになったんです。なぜ、女の子はスカートを履かなければならないのか？どうして男の子みたいにズボンを履いてはいけないのか？例えば、エレメンタリーの場合、学校以外ではスカートは履きたくないという生徒がいます。しかし、女の子は学校にいる間はスカートを履く必要があります。

4年生になってふと気がつくと、セカンダリーの生徒たちが「女子でもズボンOK」と行動してくれたので、セカンダリーの女子もズボンを履けるようになりました。しかし私は、「なぜセカンダリーだけなんだろう？なぜ小学生の女の子もズボンを履けないのだろう」と思いました。友達にスカートをどう思うか聞いてみたらズボンがいいって言う人もいました。親にどうしたらいいか相談してみたところ、「なぜセカンダリーだけズボンを履くのか知っている人に聞いてみたら」と言われました。そこで、心当たりがある4人の人に聞いてみました。

Dr. Yoshihara、Mr. Sullivan、Mr. Bradley、そしてMs. Mitsuyoに聞いてみました。Mr. BradleyとMr. Sullivanは、なぜセカンダリー女子がスカートを履くようになったのか知りませんでした。Dr. Yoshiharaは、新しい制服について話し合ったとき、エレメンタリーの女子の中にズボンを履きたい人がいることを考えなかっただけだとおっしゃいました。Ms. Mitsuyoに聞いたら、セカンダリーの女子だけがズボンを履いているそうです。私はあと2年待てばセカンダリーでズボンが履けるようになるけれど、他のエレメンタリーはどうなるんだろう？セカンダリー学校に行っても、エレメンタリーは何も変わらないんじゃないかと不安になりました。そこで、両親に助けを求め、私の気持ちをDr. Yoshiharaにメールで伝え、KISTが学校の制服の方針を変えることを検討してもらえないかお願いしました。一週間後、Dr. Yoshiharaに相談したところ、それからは全員ズボンを履いていいということなりました。その知らせを聞いて、私はわくわくしていました。何かが間違っている、何かがこのままではいけないと思ったら、とにかく行動することだと思います。

Lia (G4B)

KIPSニュース

まだまだCOVID-19の不安がぬぐえない状態でスタートしたこの2022–23のスクールイヤーからもうすぐ10カ月が経とうとしています。幸い、この1年間はPreschoolを閉園することなく、P1の子どもたちも、P2の子どもたちもKIPSで目覚ましい成長を遂げています。

P1クラスは6名という最大の定員で園生活でのルーティンをこなし、皆が切磋琢磨し英語・Art・Music・PE・日本語を学び、驚くほどの成長や言語の習得をしています。園生活の中でお友達と遊び、ケンカしてはあやまり、お友達がお休みの日は「〇〇はいないの？」と仲間意識も芽生えています。P1の初挑戦、Kinder Concertはご覧になられましたか？猛練習の成果をしっかり舞台で披露してくれました。彼らの成長ぶりを確認していただけたと思います。

P2クラスでも初の試みでいつもと違う形で親子参観を行いました。保護者の皆様にてとても好評で、「園での普段の様子を見られてとても良かった。」、「家ではお片付けできないのに、ちゃんと園ではしているのですね。」等うれしいお言葉をいただきました。

この低年齢での1年間の差は大きく、入園当初まったく英語が話せなかった子供たちも、アウトプットがはじまり、家でも英語を話しているとうれしい報告をいただいています！また、P2では「科学」クラスがあり、探求学習を実践しています。実験の結果を見入る子どもたちの様子は、目をまるくして、わくわくが止まりません。子どもたちが将来どんなことに興味を持ち、どのような方向に進むのかわかりませんが、少しでも彼らの土台づくりに役立ちたいと考えています。

6月16日（金）にはCompletion Ceremonyがあり、それに向けて子供たちは練習に励んでいます。今年度はP1の子どもたちも参加し、お見送りをする予定です。

6月末まで残りの園生活を一緒に楽しく過ごしましょう！そして素敵な夏休みをお過ごしください。

Yukiko Murai Jones
KIPS Office Coordinator

From the P2 classroom...

『非認知能力』という言葉を耳にしたことがありますか？KIPSでは英語環境に慣れると共に非認知能力の向上に力を入れています。非認知能力とは、テストなどでは数値化できない内面的なスキルのことを指し、自己肯定感や柔軟性、やる気、創造力、忍耐力など、その他にも様々なものがあります。KIPSでの生活の中で、子どもたちは友達や先生と出会い、日々何かを吸収しています。色々なことが出来るようになり、その度に褒められ、褒められることが嬉しいと分かると今度は友達を褒めたり励ましたりする姿が見られます。友達が泣いていると、駆け寄って優しく声を掛けたり、頭をなでたりする姿も見られます。出来ないことがあったり、友達とケンカすることももちろんありますが、その度に自分で考える子ども、先生に助けを求める子どもなど、子ども達なりにどうやって解決したら良いのかを学んでいます。保育者が介入しなくても玩具の貸し借りが出来るようになったり、お互いに順番を決めるようになったり、友達が出来ないことを助けてあげたりと、内面的な成長を感じています。

コロナ感染が落ち着き、保護者参加型の様々なイベントができるようになりました。ヤクルト主催の『おなか体操』では、腸内を良い環境に保つことが健康を保つ秘訣！ウンチの状態を見れば腸内環境が分かり、良いウンチにするためにはどうしたら良いのかを教えていただきました。スプリングコンサートではKIPSでの練習の成果をステージ上で存分に発揮することが出来、とても誇らしく、感動しました。ピクニックでは、子ども達がお互いにどのように遊んでいるのかを見てもらい、アクティビティを通して親子の交流、保護者同士の交流を図りました。Observation weekでは、保護者の方に隠れてもらい、保護者がいない状態の子ども達が普段KIPSでどのように過ごしているのか（Free play time、Morning circle、Lessons、Communication）を見てもらいました。今、子ども達は卒園に向けて、K1に向けて頑張っています。子ども達が最後までKIPSでの生活を楽しみながら、内面的にも身体的にもさらに成長できるようにサポートしてまいります。

Yoshimi Machida
P2 Teacher

模擬国連イベント

ASIJMUN

2023年ASIJ模擬国連会議での体験談

Arshiya (G11A)

私にとって2回目のASIJMUN大会でしたが、今回はさらに大きな規模で開催されることになり、とても楽しみでした。この会議のためだけに、わざわざ韓国から参加する学生もいました。このことは、会議自体の重要性を高めるだけでなく、異なる文化圏の学生とコミュニケーションをとることができ、自分の委員会のテーマに関する多様な視点について理解を深める機会を与えてくれました。今回、私はECOSOC委員会に所属することになったのですが、全員が次々と意見を述べ、修正案や決議案についてプレゼンテーションを行い、とても刺激的な経験となりました。

会議が始まった時は、まだ手続きや周りの人に慣れず、もやもやしていましたが、他のトピックに進むにつれて、自国との関連が高まり、貢献できることが多くなりました。今回は、これまでの会議よりも他の参加者とコミュニケーションをとることが多く、新しい友達を作ったり、出会いがあったりしました。

2日間、たくさんのスピーチや補正、リラックスできる休憩時間、ちょっとしたトークで、多少疲れはしましたが、回を重ねるごとに手順を理解するのが早くなっているのを実感できて嬉しかったです。人前で話すという点で、自分がどれだけ成長したかを確認できたことは、私にとって非常に有意義で興味深い経験となったことは間違いありません。アドバイザー、代表者、事務局の方々には、心から感謝しています。

Kiichiro（G11A）と Arshiya（G11A）

KIST代表者たち

Kiichiro (G11A)

今年、私はASIJで初めて完全対面式のMUN大会に参加する機会を得ました。この会議には、韓国の済州島からの2校を含む8つのインターナショナルスクールが参加しました。私は、ASIJMUNの7つの委員会のうち、「危機管理委員会」の日本代表として選ばれました。当然、「危機管理委員会」にも、同じような規模の会議にも参加したことがなかったので、少し緊張していました。

私の委員会である「危機管理委員会」は、ベトナム戦争に焦点を当てた委員会でした。この会議は、第二次世界大戦後、各国の代表が緊迫した状況の中で自国のナビゲーションを行うことから始まりました。「危機管理委員会」は、可能性がある分、自由度が高いと言われていますが、私の担当した「日本」は、ベトナム戦争への関与が少ないため、会議前は関連性の薄い国かもしれないと感じていました。

しかし、初日の委員会が進むにつれ、和平交渉の仲介役が私一人であることに気づかされました。他の代表は、「共産主義」ブロックと「資本主義」ブロックに分かれて、思想的ブロックを構成していました。各国首脳の暗殺やクーデターが続出した委員会であったが、私は、双方に停戦を呼びかけ、他の代表を動かして交渉に持ち込むことができる唯一の国家として留まることができました。2日目の最後に、委員会は、私が代表を務める日本を主な提出国として、戦争を終結させる公開指令を可決することができました。

思いがけないことに、ASIJMUNは私のMUN経験の中で最も印象深く、好きなMUNイベントとなりました。私は、新しい委員会に参加することに慣れ、緊張が高まる中で交渉のテーブルに超党派で参加することの重要性を再認識することができました。最も重要なことは、関東や韓国のインターナショナルスクールの友人と一緒に、テンポの速い委員会に参加できたことが非常に楽しかったということです。私は、KISTが今後も同様の大規模な 対面式会議に参加し、場合によっては国際的なイベントに参加したり、来年は自分たちのKISTMUNを開催したりできるようになることを期待しています。

次のページに続く

前ページの続き

JMMUN

2023年日本メトロポリタン模擬国連会議

去る3月25日と26日、日本最大の学生主導の国際会議：洗足日本メトロポリタン模擬国連（JMMUN）において、KIST生徒数名が様々な国の代表として参加する機会を得ました。KISTの生徒は様々なレベルに参加し、ルネッサンスという共通のテーマのもと、森林破壊の防止や原子力技術の分野における持続可能な成長といったトピックについて話しました。

Zayan（G10B）と私は、2名のスペイン代表として委員会に参加し、近代奴隷制の廃止をテーマとして発言しました。イベント期間中、Zayanと私は、多様な学校や背景を持つ参加者と、新しいアイデアや解決策を議論しました。それぞれの加盟国が直面しているさまざまな問題や、深刻化する現代奴隷制の問題に対する実行可能な解決策について、他の参加者数名と建設的な議論を交わしました。

それぞれの代表が分かち合った情熱は、会場にいるすべての参加者を刺激し、この経験から学ばせてくれました。私たちの委員会では、提案された2つの決議案が可決され、Zayanと私は両方の決議案の代表署名人を務めました。そのおかげで、私たちの委員会の全員にとって、楽しくて得がたい経験となりました。

このような成果は、私たちの委員会に限ったことではありません！どの委員会でも、さまざまなレベルで有意義で協力的な議論が行われていました。講堂から各委員会室に向かう参加者の熱心な表情や、広い廊下に響く議論の音から察するに、このイベントに参加したすべてのメンバーが楽しい経験をしたことがわかります。

今回3名のKIST生が、このイベントでの優秀な成果を称えられ、表彰されました。

- **Remi**（G11A）がHonourable Mentionを受賞しました。
- **Aryan**（G10B）と **Zayan**（G10A）はベストデレゲート賞を受賞しました。

最後に、イベントを振り返ってみると、JMMUN2023は参加したすべての代議員に素晴らしい学びの機会を与えてくれました。私自身、このイベントで多くの友人ができ、現在も連絡を取り合っています。最も大切なことは、私が参加した委員会の各代表が感じていた情熱を思い出すことです。この情熱は、世界の問題に対する解決策を議論し、発明し続けることで、いずれは国を代表して国連の舞台に立つことを望んでいます。

Aryan (G10B)

KIST代表者たち

Zayan（G10B）と Aryan（G10B）

次のページに続く

前ページの続き

SMISMUN

2023年St. Mary's模擬国連会議

去る4月22日、KISTの代表者12名が第1回St. Mary's模擬国連会議に参加しました。代議員は、海洋のプラスチック汚染への対策、権威主義の世界的な台頭への対応、世界的なメンタルヘルス危機への取り組み、サイバー戦争や国家によるハッキングへの対応など、さまざまな問題について決議案を作成しました。以下は、初めて議長を務めた**Arshiya**（G11A）と**Sadhika**（G11A）の感想です。

Kiichiro (G11A)

今回の会議は、私が初めてMUN会議で議長を務めた会議でした。それ以前に2つの大規模なMUN会議に参加したことがありましたが、議長として参加するのは全く異なる経験でした。様々な学校から集まった多くの人たちとコミュニケーションを取ることができ、有意義な時間となりました。今まで代表として参加したMUN会議では、自分の学校と数人の人としかコミュニケーションを取らないことが多かったのですが、議長を務めたことで、他の学校の人たちとコミュニケーションを取ることができました。委員長を務めたことで、これまでの自分の殻を破ることができ、会議の進め方についてももっと良く理解できるようになりました。

私の委員会のスタートは少し遅かったので、共同議長と私は代議員を特に引きつけ、手続き規則を思い出させなければならないことがたくさんありました。しかし、優秀な事務局員のサポートにより、私たちの委員会はスタートし、POIやスピーチの数を増やすことができました。また、共同議長と共に仕事をすることになったので自分のコミュニケーション能力が本当に向上し、共同議長から多くの新しいことを学び、過去のMUNの経験を共有し、笑いを共有することができました。

多くの意見交換が行われた後、会議は終了し、私はスピーチをすることになりました。たくさんの観客の前で締めのスピーチを起案し、発表することができたのは、とてもシュールな気分でした。スピーチの中で自分の委員会の成果を発表できたのは、最高の気分でした。最後に全員で記念撮影をし、事務局員や共同代表と握手をして最後のお別れをしました。全体として、非常に思い出深い、しかし疲れる経験であり、MUNで不可欠な議長経験を積むことができたことをとても嬉しく思っています。

Arshiya (G11A)

Arshiya (G11A) と Sadhika (G11A)

経験豊富な代表団が、議論を円滑に進めるために私と共同議長に期待を寄せていることを考えると、最初は不安でした。私が自信を持って委員会の議長を務められるように、事前に十分な準備をし、協力してくれたSMIS事務局に心から感謝します。

私は国連人権理事会（HRC）の議長を務め、代議員たちは権威主義の世界的な拡大について議論しました。私の委員会は、この問題について、ほぼ即座にブロックや決議案をまとめ、有意義な会議を行うことができました。一日を通して、中国やサウジアラビアの代表（権威主義を支持）、インドや南アフリカの代表（権威主義に反対）など、さまざまな意見や解決策を耳にすることができました。このイベントでは、多くの代表が演壇に上がり、その優れた演説スタイルや論点を披露するのを目の当たりにし、今後のMUN会議で代表として役立つスキルを身につけることができました。

終盤になると、私の委員会はかなりカオスになりました。この時、私の議長としての務めは本当に難しくなりました。幸いなことに、私と共同議長がうまく協力し、議論をまとめ、委員会の最終決議案を可決することができました。

国連人権委員会の委員長を務めることができ、大変光栄に思っています。私の委員会のすべての代議員が議論に参加してくれたことを嬉しく思うとともに、私にとってもそうであったように、SMISMUN会議が出席者全員にとって思い出深いものになったのではないかと思っています。

Sadhika (G11A)

夏のERAにどう向き合うか（試験結果予想！）

今年もあっという間にKISTの一年が過ぎました！今年もまた、生徒たちが自己調整能力を高め、勉強と人間関係のバランスをとるための創造的な方法を見つけるのをサポートさせていただく機会に恵まれた1年でした。しかし、一年の終わりにお祝いすることはたくさんありますが、この機会に間近に迫った重要な節目について、目を向けておきたいと思います。まだ先のようですが、8月の新年度開始まで、あっという間です（先生方には早く、保護者の方には遅いかもしれませんが…）。

新年度の始まりの大きな節目となるのが、待ちに待った試験結果の発表です。

このような場面では、さまざまな不安が出てくるのは当然です。G10、G12の生徒にとっては、長年の努力の集大成であり、単なる試験結果ではなく、将来の様々な扉を開く鍵になるものです。この記事では、夏休みを迎えるにあたり、ご家族が不安に感じることを解決するための、実践的なヒントをご紹介します。

試験の成績を待つ？

1. **過去は変えられない！**

試験では、「もしそうだったら」ということに目を向けがちです。試験の性質上、やったことを祝うよりも、やらなかったことに焦点を当てることを余儀なくされます！しかし、今さらどうすることもできません。試験の結果をコントロールすることができない、つまり、すべてが未知の人の手に委ねられていることから、不安になることがよくあります。できなかったことを反省するのではなく、復習の過程を振り返りましょう。どんなことが参考になりましたか？どの試験が一番簡単だと思いましたか？その試験の準備のために、何か違うことをしましたか？この振り返りこそが、将来を見据えることにつながり、次回、試験の場面が訪れたときに、個人の学習スタイルに合わせて準備を微調整することができるようになるのです。

2. **コントロール**

前項で述べたように、試験の結果をコントロールできないことが、不安の主な要因になることが多いです。日常のさまざまな場面で自分をコントロールすることは、この不安を軽減する上で大きな助けとなります。蓄積された緊張を解消するために、さまざまな事態を想定した準備をしましょう。

例）：

- この科目で思うような成績がとれなかったら、これからはこうしていこう
- 来年はこの点の内容が心配だ。事前に読書をしておこう
- なんだかだるい。飲み物・おやつで頭をすっきりさせる

日課を守り続けることも、自分がコントロールできていると感じるための一つの方法です。日課（確実に設定・実行できるもの）に徹すれば親しみがわき、一貫した達成感を味わえます。習慣化することで、ドーパミンが分泌され、結果に対する不安を紛らわすことができます。自分自身を振り返り、仮定の黙示録的な結果に溺れないようにする決意が必要です！

試験の結果に対する不安を抑えることは、簡単なことではありません。ですが、私たちは生徒皆さんがとても頼もしいことを知っています。これらのヒントが、心配のない夏の始まりのヒントになればと思っています。

皆さんの結果が出るのを楽しみに、そしてこれからも応援し続けていきたいと思います。みなさん、頑張ってください！

Matthew Archer and
Hannah Cowie
Student Care
Coordinators
(Secondary)

スクールカレンダー2023-24

保護者の皆様へのリマインダーです。2023–24年度の学校休暇期間の日程は以下の通りです。**12月号の「The Comet」で以前お知らせしたカレンダーとは異なる日程が多々ありますので、よくご確認くださいますようお願いいたします。**

1年間のイベントや 行事の詳細については、E-Communicationsで各家庭に配信されたカレンダーをご確認ください。

- **新学年度生徒始業日：**
  2023年8月21日
- **秋期休暇：**
  2023年10月28日～11月5日【※変更しました!】
- **冬期休暇：**
  2023年12月16日～2024年1月7日
  （生徒の新年度の始業日は2024年1月8日です）
- **春期休暇：**
  2024年3月23日～31日
- **ゴールデンウィーク休暇：**
  2024年5月3日～6日【※変更しました!】
- **生徒の最終登校日：**
  2024年6月12日

Connect to Hisaichi

今年の初め、G11地理学科の生徒たちは、内戦で避難した難民を助けるためにシリアで活動するHelp4Refugeesの創設者、Jordan Hatter氏を紹介されました。Hattar氏は、難民が直接支援を受けられるようにし、寄付された資金がどこに使われたかを明確に示しています。

今年初めに起きたトルコとシリアの大地震の後、Hattar氏はトルコのアンタキヤに飛び、父親のYasserを含む8人の家族と連絡を取りました。当時、一家は歩道の金属製の屋台で生活しており、緊急の支援が必要な状態でした。

この間、KISTのConnect to Hisaichi（CTH）チームはHattarさんと連絡を取り合い、彼が支援している家族のニーズについて知りました。これをきっかけに、G11の地理クラスとCTHは、Yasserさんの家族を支援するための募金活動を実施しました。募金活動の総収益は169,082円で、これを2つのNGOで均等に分けました。Ahbap*とHelp4Refugeesの2つのNGOに均等に寄付しました。さらに、CTHチームはThe American School in Japanの英語サークルクラブと協力し、ASIJでHelp4Refugeesのための募金活動を行いました。

KISTからの寄付金は、Help4Refugeesを通じて、ワルシャワのアメリカンスクールからの追加支援を受け、Yasserの家族のための新しいコンテナハウスの一部資金を提供することができたのです。

ちょうどイスラム教の祝日であるEid-al-Fitrと同じ頃のことで、ご家族は大変感謝されていました。

皆様の継続的な支援に感謝します。KISTコミュニティの皆様からの寄付は、私達のこの世界での貢献につながりますので、よろしくお願いいたします。

CTHチーム

*Ahbapはトルコの団体で、人道支援や自然災害対策のコーディネートを積極的に行っています。今回の地震では、水や食料、テントなど、被災者に必要な物資を提供しています。

Yasser氏の家族の屋台の横に搬入されるコンテナハウス

CTHチームとポーランドのアメリカンスクールに手を振るKaram（中央）

Hatter氏（右）とYasser氏の家族

サービス活動報告

HiGEPS（理系高学年グローバル教育プログラム）

Zayan（右）とKISTの仲間たち：Fumie（G10A）、Diya（G11A）とShota（G10B）

私は埼玉大学でインターンシップに参加しました。今回のインターンシップでは、理系（物理、化学、生物）の大学レベルのテーマを多く取り上げ、さらに数学も学びました。埼玉大学の先生方は、これらのテーマについてオンラインと大学の両方で講義を行いました。講義はすべて日本語で行われるため、理解するのに苦労することもしばしばありました。しかし、インターン生は、私が困っている多くのテーマについて説明し、コース期間中、私をたくさん助けてくれました。インターンシップの終わりには、科学や数学の分野での近年の進歩について、プレゼンテーションとエッセイを書かなければなりませんでした。さらに、インターンシップの担当者が私たちの進歩を把握し、授業内容を理解しているかどうかを確認するために、テストを受ける必要もありました。

私は常に科学に大きな関心を持っており、このインターンシップでは、私と同じような多くの人々と出会い、自然科学への知識と興味を広げることができました。全体として、素晴らしい、そして非常に有意義な経験でした！

マニラ×東京SDGsスピーチコンテスト

マニラ×東京SDGsスピーチコンテストは、フィリピンの学生との国際交流プログラムとコンテストでした。スピーチコンテストのメインテーマは、17の持続可能な開発目標で、社会の向上のためにこれらの目標がいかに必要であり、世界がこれらの目標を遵守し、将来の世代のためにより良い世界を築くためにどのような進歩を遂げてきたかについてスピーチしました。

私はスピーチの中で、気候変動対策への必死の呼びかけを行いました。私自身の気候変動との闘いについて話し、日本における気候変動対策の必要性を示しました。私は、このスピーチで2位を獲得しました。私は、気候変動と闘うという私の情熱に取り組むために、こうした場を他にも得ることができればと思っています。

このコンテストでは、東京やフィリピンから来た他の多くの情熱的な学生たちのスピーチも聞くことができました。SDGsを遵守する必要性を実感し、自分の行動が社会にどのような貢献をしているのかを問うようなスピーチを聞くことができました。

ブラインドジョギング（アキレス・インターナショナル）

私は、代々木公園を走る全盲のランナーをサポートする「ブラインドジョギング」に参加しました。アキレス・インターナショナルは視覚障害者ランナーの団体で、ボランティアで視覚障害者ランナーの走りをサポートすることができるため、私は視覚障害者ランナーと一緒に走ることができる素晴らしい機会を得ることができました。視覚障害者のチームメイトと一緒に10 kmほどジョギングをして、とてもすばらしい経験をしました。

視覚障害者のパートナーは、日常生活や視覚障害になる前の生活など、視覚障害者としての経験を話してくれました。視覚障害者に対する尊敬の念を抱くことができた、とても貴重な経験となりました。

Zayan (G10A)

KIST HEART CLUB

2月11日募金活動の結果

私達について

私達はセカンダリーの生徒によって設立された難民支援団体、KIST HEART CLUB です。'Help Empower and Assist Refugees Today!'というモットーに基づいて日々活動しています。

私達は難民達に必要な物資を届け、また難民問題の認知度を高めるためにドネーションドライブや募金活動、競技大会など様々なイベントを主催しています。

■募金活動について

私達は2023年の序盤に募金活動を主催しました。この活動ではKISTコミュニティの皆様がコーヒー、ココアやお菓子を購入できる売店と、チケットを買って参加できる防水スピーカーが当たる抽選会を開催しました。

この活動で実感することができたKISTコミュニティの皆様の寛大さに感動しました。また、本活動に寄付してくださったCAの方々にも感謝申し上げます。

皆様の募金のおかげで、難民支援団体NPO法人Help4Refugeesに1200ドル寄付することができました。この寄付金はトルコ・シリア地震に被災したシリアの難民達に必要不可欠な水や薬などの物資の支給に使われます。

ありがとうございました！

KISTコミュニティの皆様、本年度のHEARTの活動に参加、並びにご支援いただき誠にありがとうございました。
皆様の思いやりや共感には毎回感動させられます。これからも活動を主催し、皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

スペリング・ビー

3月、私は東京アカデミックス主催のスペリング・ビーに参加し、2位を獲得しました。この記念すべきイベントは、六本木の東京アカデミックスビルで開催されましたので、その時の様子をご紹介します。

会場に入る前、バインダーに穴の開いた分厚い単語集を手にした大勢のスペリング・ビー参加者に遭遇しました。その中で、私はこのコンテストのために十分な準備ができたかどうか不安になりました。私は家にいる間、スペリング・ビーのために、いくつかの重要な単語とその語源、それぞれの言語について学び、勉強してきました。英語には15万語以上の辞書があり、固有名詞（スペリング・ビー出てくる）を含めるとさらに膨大な数になりますから、この方法でスペリング・ビーのために勉強するのがずっと効率的だと私は思います。

部屋に入ると、観客（出場者の保護者）用の椅子が何列も並んでいて、プレッシャーになりました。大会が始まる前に練習ラウンドを行い、マイクに慣れることができました。同時にtwitchのライブストリームでは、全世界の人が視聴できるようにイベントの一部始終が中継されていました。最初の数ラウンドは簡単で短い単語が並び、気楽なものでした。

しかし、回を重ねるごとに単語は難しくなり、都市名や「アンデス」のような固有名詞に挑戦する不運な出場者も出てきました。自分でスペルが言えないときは、「失敗しそうだ」「次は自分の番だ」という思いが頭をよぎり失敗は避けられないと思いました。

私には「volumetric」、「shamrock」、「amphibian」など、スペルが簡単な単語が出題されました。また別の参加者には、もっと難しいと思われる「memorandum」という単語が出題されました。このような難しい単語で、失格になる人がどんどん増えていきました。また、「フラフープ」を意味する「hula」という単語がありましたが、この単語をスペルした出場者は「hoola」とスペルしており、これが一番残酷でした。

最後から3番目のラウンドでは、3人の出場者が残っていました。私の番が来て、「次の出場者は、"tarmac"という単語のスペルを言ってください」と言われて、「いやだなあ」と思いました。その単語が出されると、時間がゆっくりと流れ、心臓の鼓動が高まり、頭のなかでこだまするような感じがしました。これは難しい単語でした。私は、自分の周囲に湖ができたのではないかと思うくらい、不安な気持ちで、果てしない記憶をたぐり寄せて、ヒントを探そうとしていました。

「その単語、前に聞いたことあるかも」。時間はどんどん過ぎていきます。「チック、チック」と音がして、「残り30秒です」と発音官が答えました。私は必死に記憶をたぐりながら、手がかりを探しましたが、唯一のモチベーションは、頭の中で続く自分の声でした。

ターマック、ターマイト、ビデオ・・・」そして、その単語をどこで聞いたか、やっと思い出しました。シロアリを使った実験のビデオで聞いたことがありました。

「ターマック、T-A-R-M-A-C...、ターマック」と答えました。

「正解です」と発音官が答えました。
そう、私は最終選考に残ったのです。

最終ラウンドでは、私ともう一人の出場者の計2人だけが残りました。私の番が来て、「whelp」という単語をスペルすることになりました。私はこの単語に非常に自信がなく、カジュアルな会話でよく使われる「welp」という単語と混同してしまったかと思いました。そこで、私はこの言葉の意味と文中の用法、そして語源を教えてほしいと頼みました。その結果、私が思っていた'welp'と定義が違っていて、わからなくなってきたのです。語源は古い英語なので、「welp」か「whelp」の2つの可能性しか頭に浮かびませんでした。そこで、思い切って「welp」と答えました。2つの選択肢、五分五分の可能性があって、私は誤った答えを出してしまったのです。

2位で表彰台に上がったものの、頂点を狙っていただけに厳しい結果となりました。とはいえ、楽しいことがたくさんあり、感情が爆発しそうなすばらしい経験でした。たくさんの素晴らしい人たちと出会うことができ、この瞬間をみんなと共有できたことは素晴らしいことでした！

Noah (G7B)

スペインのランス

この2023年の前半に、私はie Universityのプログラムについて知りました。

少し詳しく説明すると、ie Universityはスペインの私立大学で、セゴビアとマドリードにキャンパスがあります。同校は、ヨーロッパだけでなく、スペインでもトップクラスの大学として知られています。

このプログラムには、毎年世界で15人しか参加できないので、応募したときは自分が合格できるかどうか不安でした。すべての活動の中心となるテーマがあります。今年のテーマは「自動車のない都市」でした。このテーマに沿って、4分間のビデオピッチとプレゼンテーションを行うことが、応募の重要なプロセスの1つです。

この5日間の無償プログラムは、ieの教授陣による充実したワークショップ、カンファレンス、インタラクティブ・セッション、チームビルディング・プロジェクトで構成されています。

マドリードに初めて降り立ったとき、私は出会った人々に驚きました。15名の参加メンバーのうち、世界13カ国、そして全大陸から選出されていることがわかったのです。多国籍でありながら言葉の壁はなく、互いの文化を知り、意見を交わす機会が何度もありました。

私達の受けたレクチャーは、データの収集と分析から建物の持続可能な開発まで、多岐に渡りました。また、統計的手法、データの可視化技術、データ駆動型の意思決定プロセスなど、問題解決に向けたデータ処理の重要性を学びました。経済学と地理学、経営学を絡めることで、実社会の課題の多面性と学際的なアプローチの必要性を強調した講義が行われました。

プログラムの最後に、私たち15人は学校の理事会でプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションのねらいは、都市における自動車の問題を取り上げ、その問題に取り組む方法を考案することでした。私のグループは、「ハイパーループ」という、決まった軌道を通らずにA地点からB地点まで乗客を運ぶことができる高速輸送モジュールを発表しました。あまり厳密なガイドラインはなかったので、ハイパーループをベンチャーキャピタル／シャークタンク的な投資として描くことにしました。

マドリードでの講演会に行く一同

ユネスコの世界遺産に登録されているセゴビアキャンパスは、中世のスペインの雰囲気が漂っていました。ここでの生活は、親密なコミュニティーの中で、ゆっくりとした時間を過ごすことができました。しかし、マドリッドキャンパスは、スペイン金融街の中心にある高さ180 mを超える建物で、全く違うものでした。マドリードは美しい都市文化を持っていました。

プログラムの間、私たちはセゴビアとマドリードを観光する時間をたくさんもらいました。スペインの伝統的な料理を食べたり、新しい友人と歴史的な名所を訪ねたりすることができたのは、とても贅沢な時間でした。

このプログラムは、私にとって一生忘れることのできない体験となりました。

Lance (G11B)

仲間との楽しいひととき

スペイン・セゴビアの水道橋

セカンダリーSRC

チェス大会

2023年4月13日、SRCはチェス大会を開催し、G6～G12の18人のチェスプレイヤーが、誰がセカンダリースクールで最も優れたチェスプレイヤーかを競い合いました。

各プレイヤーは4回のラピッドゲーム（各プレイヤーに与えられた時間は10分）を行い、勝つと2点、引き分けると1点、負けると0点が与えられます。

Anant（G11A）は、4回のゲームで8点すべてを獲得し、優勝しました。他の6名は4戦3勝の6ポイントでトーナメントを終了しました。

全体的に競争力が高く、チェスへの情熱が学年の枠を超えているのを見るのは素晴らしいことです。

このイベントは成功裏に終わり、SRCは近いうちに別のチェス大会を開催したいと願っています！

参加者の皆さん、特に若い参加者の皆さんが、様々な相手と対戦できたことは喜ばしいことです。イベントの監督を手伝ってくれたCely先生に感謝します！

Arnav (G11B)
SRC Co-President / Competition Organizer

Amazon Web Services

2023年2月27日（月）、AWS（Amazon Web Services）のゲストスピーカーが、10年生ビジネスマネジメントクラスでAWSに関する啓発的なプレゼンテーションをしてくださいました。ゲストスピーカーのBabikov氏は、クラウドコンピューティング、アマゾンの理念、アマゾンの雇用方法などについて詳しく説明してくださいました。特に、AWSの基本理念については、Working Backwards Methodの例を挙げながら、その理念がアマゾンのオペレーションにおいていかに重要な役割を果たしているかについて、非常に興味深いお話を伺いました。

Babikov氏は、日本最大級の音楽ブランドである島村楽器とのAIモデルの統合など、AWSの面白い活用事例を数多く紹介されました。また、機械学習やAIを活用したアマゾンのウェブサービスプロセスの最適化についても詳しく説明してくださり、G10参加者はAIの活用について全く新しい視点から見ることができました。また、Babikov氏は、アマゾンの採用プロセスにおける独自のアプローチについても説明し、面接やスキルテストを含む複数の異なるステージで、その仕事に最適な候補者を抽出することを説明しました。そして、最適な人材を採用することの重要性と、この標準化されたプロセスがアマゾンの成長を支えていることを紹介しました。

全体として、Grade 10 Businessは、AIとMLと業界におけるその応用、そしてAmazonの複雑な雇用プロセスについて、穿った見方を得ることができたBabikov氏とAWSチームに感謝しています。

Zayan (G10A) と **Aryan** (G10B)

ブルームバーグ本社訪問

先日、私たち10年生の経済・ビジネスクラスは、東京・丸の内にあるブルームバーグ本社を訪問する貴重な機会を得ることができました。ブルームバーグのオフィスがどのように運営されているのか、また、端末サービスのデモを見ることができました。

ブルームバーグのスタッフ、Kateさん、Hanaさん、Sakuraさんが私たちを出迎えてくれ、最新設備を備えたオフィス内を案内してくれました。将来はブルームバーグで働きたいと思わせてくれるような、魅力的で気品あふれるスタッフたちでした！ビデオルーム、トレーディングエリア、カスタマーサービスルームなど様々な部署を案内していただきましたが、中でもパントリーが私たちの一番のお気に入りとなりました。ブルームバーグが社員だけでなく、来客にも細やかな配慮をしていることがよくわかりました。また、オフィス内の設備の充実ぶりには目を見張るものがあり（モニターが6台もあるところも！）、実際にこれらのサービスがどのように活用され、情報に基づいた意思決定がなされているのかを直接見ることができました。

ブルームバーグ本社の見学は、私にとって衝撃的なものでした。スピードが速く、要求の厳しい金融とビジネスの世界を紹介され、正直に言えば、いつか彼らの世界的に有名なサービスの恩恵を受けられるような成功した起業家になることを後押ししてくれました。私は、ブルームバーグ・オフィスを、金融業界に対する新しい展望を持って後にしました。

今回の課外授業では、IGCSEで学んだことが現実の世界で実践されている（フラットな階層構造、従業員のモチベーション、独自のセールスポイントなど）のを目の当たりにする素晴らしい機会となりました。この経験は、10年生としてビジネスや金融の世界を目指す私たちに励みを与えてくれました。このような素晴らしい機会を企画してくださったブルームバーグ本社のKateさん、Hanaさん、Sakuraさん、そしてMr. Gombya、Mr. D'Rozarioに改めて感謝したいと思います。

Pranav (G10B)

ニューフェイス

前回の*The Comet*から、新たに2人のスタッフが加わりました。1人はセカンダリースクールで日本語教師として働く**Tomoya Matsuda**、もう1人はエレメンタリースクールで学習支援インストラクターとして今年度から働き、8月からクラス担当になる**Venessa San Juan**です。

Tomoya Matsuda
Secondary Japanese

Mr. Matsudaは、自分の新たな役割について次のように述べています。
KISTのコミュニティにこうしてご挨拶できることを嬉しく思います。KISTでは、新しいチャレンジが見つかり、毎日が楽しいです。学校の外では、友人と音楽を演奏したり、他の人達と会話したりするのが大好きです。特に、日本の80年代ロックが最高です。皆さん、よろしくお願いします。」

Venessa San Juan
Learning Support Instructor

Ms. San Juanは、新しい役割についてこう語っています。
私はフィリピン、中国、そして今回の日本で暮らし、仕事をしている、Venessaと申します。子どもたちに教えるようになってから10年以上になりますが、教室の中でも外でも、私は常に学習者の一人です。私は、誰もが何があっても成功する可能性があると信じています。私は、ポジティブな学習雰囲気を確立し、子ども全体を育てるという目標を共有しながら、共に学び、成長することにわくわくしています。KISTコミュニティにいることを嬉しく思っています。ここにいられてとても幸せです！」

学校コミュニティを代表して、二人の新しい役割での成功を祈るとともに、私たちとの時間を楽しんでいただければと思います。

ワールドブックデー

4月23日（日）は、世界的な文豪として広く知られているウィリアム・シェイクスピアの誕生日です。また、4月23日は「ワールドブックデー」として祝われています。この日は、読書への愛情を育み、人生で本を読むことの重要性を認識することを奨励する日です。世界中の多くの学校が様々な方法でワールドブックデーを祝い、読書を促進する活動を行い、生徒たちに素晴らしい文学の世界を探求するよう促しています。KISTでも4月24日（月）にセカンダリー、エレメンタリーの両校舎で様々な活動を行い、この日を祝うことができました！

当日は、多くの生徒や先生が自分の好きな作品の登場人物に扮して登校しました。廊下には、ハリー・ポッターやハンドメイド、馬などが登場しました。この楽しくて想像力豊かなアクティビティは、生徒たちが大好きな本や登場人物に親しみ、読書の楽しさを広めるきっかけになりました。仮装して来てくれた皆さん、本当にありがとうございました！

ワールドブックデーでとても人気があったのは、ブックパレードです。エレメンタリーの生徒たちが、素晴らしいコスチュームでエレメンタリービルと セカンダリーの校舎をパレードしました。この楽しいアクティビティは、生徒たちがクリエイティブで想像力豊かな方法で本と触れ合うことを促し、学校内のコミュニティ精神を高める素晴らしいきっかけとなりました！

この日、生徒たちは先生やスタッフのお気に入りの本のリストと見比べることを勧められました。そのためのヒントが、校内のあちこちに設けられていました。最も多くの本を当てた**Carys**（G7A）、**Amy**（G7A）、**Akanksha**（G7B）、**Tianlin**（G7B）、おめでとうございます！

お昼休みには、LMCの特別な宝探しに参加することになりました。本からヒントを見つけ、課題をクリアしていくのです。最も多く見つけたアイデアと、最も**想像力**豊かなアイデアに2つの賞が贈られました。**Gaurav**（G8B）、**Tianlin**（G7B）、**Lauren**（G7A）の3人は、ここで賞を獲得しています！

結論として、ワールドブックデーは、世界の学校にとっても重要なイベントです。このイベントは、生徒が文学に親しむことを奨励し、読書の楽しさを広めるものです。KISTの英語部門は、様々な活動やイベントを開催することで、生徒が新しい本や作家を発見し、生涯にわたって読書が好きになることを期待しています。来年、皆さんのコスチュームに会えるのを楽しみにしています！

Isobel Duncan
Subject Area Coordinator—English

コスチューム受賞者

最もクリエイティブ：
Yutong（G7A）：「シャーロットのおくりもの」

もっとも完成度の高い：
Erika（G7B）：「Coraline」

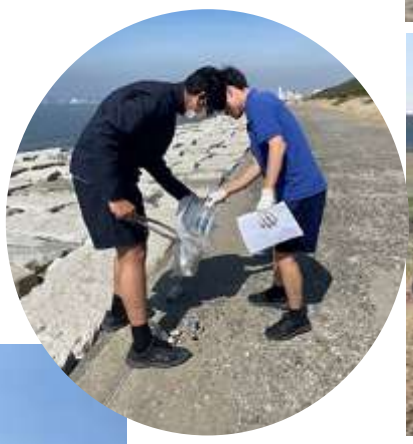
ベストペア：
Mokaと**Rena**（G8B）：「アニマル・ファーム」のボクサー

ベストグループ：
左～右 **Mirea**（ベンヴォーリオ）、**Sara**（ローレンス修道士）、**Rumi**（キャピュレット夫人）、**Joanne**（ロザリン）、**Ankita**（ロミオ）と**Arista**（ジュリエット）（G8A）：「ロミオとジュリエット」

実戦的な調査

G9とG10 IGCSE地理学フィールドトリップ

G9とG10のIGCSE地理学科の生徒は、先日、幕張で海岸浸食の調査と海岸清掃を行うフィールドトリップに参加しました。今回のフィールドトリップでは、教室で学んだ知識を実社会に応用し、汚染源を特定し、海岸浸水から地域を守るために取られている対策について学ぶ機会が得られました。生徒たちは、自分たちの力で何かを変えようと熱心に取り組み、海岸から数袋分のゴミを集めました。私達は、生徒達の懸命な努力と、調査結果をまとめたレポートを誇らしく思っています。



G10地理学フィールドワーク：清澄白河

G10地理学専攻の学生が清澄白河で、都市再開発の影響を調査するインパクトのあるフィールドワークを実施しました。コーヒーショップの増加が都市高級化を示しているかどうかに焦点を当てました。調査や視察を通じて、喫茶店の進出が積極的な集客につながり、地域の魅力を活性化させていることがわかりました。

高級化という現象は、地域の住民や文化的基盤にプラスとマイナスが混在していることが多いのですが、今回の調査では、総合的に分析して、清澄白河のコーヒーショップの進出は、より多くの観光客を惹きつけ、地域の魅力を活性化させるというプラスの影響を与えたということがわかりました。

次のページに続く

前ページの続き

G11、G12 DP I&S Robin Lewis氏来訪

mymizuの創設者であるRobin Lewis氏は、G11とG12のI&S学生を対象に、持続可能性、コミュニティ運動、クラウドファンディングについて、インスピレーションを与えるトークをしました。mymizuは、日本における使い捨てプラスチックの削減に取り組むスタートアップ企業で、無料で水を補給できる場所を探すためのアプリを開発しました。Robin氏の惹きつけられるプレゼンにより、生徒たちの起業家精神に火がつき、野心やアイデアを追求するようになりました。

Web https://www.mymizu.co/

Web https://youtu.be/oL1mTcQ827U

シュナイダーエレクトリック社来校

この場を借りて、G11とG7のI&Sクラスを代表して、快く来校してくださったシュナイダーエレクトリックの皆様に心から感謝いたします。このセッションでは、各企業がより持続可能なアプローチを取り入れるために、シュナイダーエレクトリックがどのような支援をしているのかが明らかにされました。

生徒たちは、KISTの環境への配慮を強化するための戦略を立案し、電気を節約する機会を見出すという刺激的な課題を課されました。

私たちは、尊敬するゲストたちの価値ある貢献と、生徒たちに素晴らしい経験をさせてくれたことに、心から感謝します。今回の訪問は、ビジネス領域における持続可能な活動のあり方について、生徒たちに深い影響を与えたことは間違いないでしょう。

Hannah Cowie
Secondary Geography/I&S Teacher

図書室ニュース

Elementary Library

祝・図書週間：読書への関心を高める

国際図書の日の一環として開催された「ブックウィーク」は、本校の生徒たちにとって、充実した楽しい体験となったようです。この1週間のイベントは、生徒たちの読書への関心を高め、新しい文学の世界を探求し、ストーリーの魅力を楽しむことを目的としました。

1週間を通して、キャラクターデーのパレード、「ドロップ＆リード」タイム、教師による音読会、生徒同士の本の交換会など、さまざまなアクティビティが開催されました。

キャラクターデーとキャラクターパレード

ブックウィークの幕開けとして、生徒もスタッフも大好きな文学の登場人物に扮して参加する「**キャラクターデー**」が行われました。カラフルなコスチュームで登場した生徒たちは、大好きな本の中のヒーローやヒロイン、そして個性的な人物に変身し、校内は興奮に包まれました。

キャラクターデーのハイライトは**キャラクターパレード**で、生徒たちは自慢のコスチュームで校内をパレードし、大好きなキャラクターになりきりました。

ドロップ＆リードタイム

この時間帯は、すべての生徒と職員が普段の作業を中断して読書の喜びに浸ることを奨励し、静穏な空間を作り出し、文学的体験を分かち合うことを目的として実施されました。

教師による読み聞かせの会

ブックウィークのもう一つの重要な要素は、**教師による音読会**です。学年を越えて行われたこのセッションでは、各教師が興味をそそる物語を選び、生徒と共有しました。教師たちは、キャラクターを生き生きと表現し、筋書きを盛り上げ、感情を揺さぶることで、物語の持つパワーを実感させました。この音読会は、読解における流暢さと表現の重要性を示すだけでなく、生徒たちに多様な文学を紹介することにもなりました。

交換と輝き

本の交換会は、生徒が自分の好きな物語を他の人と共有し、新しい物語を発見する機会となりました。このイベントでは、生徒たちが自分の好きなジャンルについて話し合ったり、お互いに本を薦めたり、読書の楽しさを分かち合ったりすることで、コミュニティ意識を高めることができました。

このような活動は、本の大切さを伝えるだけでなく、生徒たちのコミュニティと一体感を育みました。ブックウィークのようなイベントを通じて、生涯にわたって読書に親しみ、熱心な読書家と生涯学習者になれるよう、努めていきます。

Kids Must Read

Priyanka B P
Elementary Library Supervisor

次のページに続く

前ページの続き

Library Media Center (LMC)

Sakura Medal受賞者

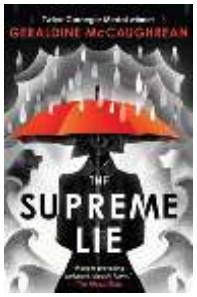
サクラメダルは、日本のインターナショナルスクールの司書が選び、監修したリーディングリストです。年度末に投票により受賞作が決定されます。

1年間を通して、生徒たちはサクラメダルの本を読むよう奨励され、多くの生徒が今年度の本を英語のリーディングポートフォリオ用に読みました。

このたび、以下の受賞作が発表されました。

Middle school:
1st: *When the World Was Ours*—Liz Kessler
2nd: *Ground Zero*—Alan Gratz
3rd: *Amari and the Night Brothers*—B.B Alston

KISTでは、Middle Schoolで最も人気のある本は、以下の通りでした。
1st: *Hide and Seeker*—Daka Hermon
2nd: *The Supreme Lie*—Geraldine McCaughrean
3rd: *The Girl from the Sea*—Molly Ostertag



新しい本

CAライブラリー委員会のご厚意により、セカンダリーおよびエレメンタリーライブラリーでは、それぞれ144,040円相当の本を追加購入することができました！本の寄付とCAの努力のおかげで、KISTライブラリーのための寄付金を集めることができました。CA委員会の募金により、LMCに近々登場する新刊をご紹介します！ポスターはライブラリーエルフの学生たちがデザインしました。

ワールド・ブック・デー

4月24日、エレメンタリースクールとセカンダリースクールの両方で、ワールド・ブック・デイを祝いました。ワールド・ブック・デイは、読書と読み書きを奨励し、本に対する愛情を育むことを目的としています。

生徒もスタッフも素晴らしいコスチュームを身にまとい、図書館の宝探しや先生とお気に入りの本のマッチングなど、楽しいイベントも行われました。

Shannon Goan
LMC Librarian

セカンダリーELS

今年1年間で、私たちみんなが発見したことは、自分の英語能力を高めるために、今以上に模範的かつ並外れた語彙を増やすことがいかに重要かということです。そこで、皆さんが夏休みに、どうすれば英語レベルを維持できるか、少しお話をしましょう。あなたが楽しい休日を過ごしている間に、もっともっと語学力を伸ばすことができるかもしれません。自信をつけること、意欲的なボキャブラリーを増やすこと、スピーキングを強化すること、などです！

良い習慣は幸せな家庭を作る

帰宅したら、多くの人がすぐに英会話の脳を「オフ」に切り替えて、友人や家族と違う言語でコミュニケーションをとるでしょう。それが日本語であれ、ヒンディー語であれ、ロシア語であれ、スワヒリ語であれ、このKISTに代表される多数の言語のうちのどれであれ・・・わかりますよ、それ。いや、本当に。私も家族に会うために帰国するときは、英語でチーズバーガーを注文することに必死になってしまうので、ここは相通じるものがありますね。

しかし、同時にこうも考えてみてください。習慣を身につけるには1ヶ月以上かかりますが、4週間かけて身につけた習慣を崩すのは1日か2日です。今は英語で話すことに慣れたのだからそれを捨ててはだめです。休み明けに帰ってきたら、なんでこんなに大変なのだろうと悔しい思いをするだけです。

読んではいけないと言ったものを読む（授業のため）！

さて、そんな悲観的な話はさておき、今回は皆さんの生活の中に英語を取り入れ、同時に楽しい時間を過ごす方法を考えてみたいと思います。

IRPで、マンガのレポートができなかったことにショックを受けたことを思い出してください。夏休みだから英語のマンガも思いっきり読めます！きっと、他では使わないようなフレーズや言葉遣いが出てくるかもしれませんよ。全部が全部100%役に立つとは言いませんが、語学吸収はさまざまな方法で行われます。

もし自分に挑戦したいのであれば、漫画などの簡単な文章を日本語版や 母国語版で読んでみて、次に英語版を読んで何が違うかを確かめてみてください。単純なことでも、驚くほど違うことがあり、翻訳者や編集者がうまく物語をつなぐために、穴埋めや橋渡しをしなければならないことがわかります。

歌って涼をとる

もしあなたがカラオケを楽しんでいるのなら、友人と一緒に部屋で英語の歌にトライすることを強くお勧めします。違う言語で歌うと、意識していないかもしれませんが、歌おうとしているアクセントや発音をオウム返しするようになるという、とても面白い副効果があるんですよ！楽しむことに集中すればするほど、自分がどのように聞こえるかを聞き分けなくなるのです。口が外国語の音に慣れて、普段の会話でもその言葉を出しやすくなるので、学校に戻ったら英語がさらに話しやすくなるかもしれませんし、他の言語でも応用できるかもしれません（K-POPが好きな方も多いと思うので、ぜひ試してみてください）！

ビデオゲーム：大人だけのものではない！

絶対にびっくりするようなこと（でも大丈夫なこと）に挑戦したいのなら、ゲーム機の言語設定を英語に変更してみてください。やりがいを感じるでしょうか？間違いなく。楽しめるかな？　おそらく。秋頃に、「やってみたら、少なくとも楽しいちょっとした体験だった」と教えてくれるでしょうか。ほぼ間違いないでしょうね！最近のゲームには、日本語や英語の字幕で聞ける言語オプションがあるものが多いので、それを使えば、ゲームプレイを妨げず、かつ、違った体験ができると思います。

映画やテレビを観てもいいんだよと、先生は言う！

夏休み中ずっとYouTubeやNetflixで前頭葉を刺激することを先生がいいと言ったと親に言う前に、いくつかの注意点を確認しておきましょう。室内外の活動のバランスをとること、ソーシャルメディアは実際の人間関係の代わりにはならないこと、メディアを満喫することには教育的意義があること、です。

違う言語で視聴して、字幕をオンにする。ほとんどのストリーミングサービスにこの機能があります。教師の中にも年をとって耳が遠くなった人もいて、字幕をつけて母国語で聞いている人がいることに驚くかもしれません。また、私のように日本語でアニメを見たいのに日本語がわからない人もいるので、何が起こっているのかを把握するためには、字幕がないと困るのです。

もし映画を見に行くなら、その映画がどういう 母国語で上映されているのか見てみると、楽しめるかもしれませんよ！字幕上映は吹替上映に比べて平均的に人が少なく、チケットが取りやすいと感じるからだけではなく、これまでも人気のある作品が公開されたときには、とても便利に使ってきたチケットの裏技なんですよ。

英語だらけ

このように、最近は英語を避けるよりも、英語を受け入れる方が難しいかもしれませんね。いろいろな体験の仕方があるので、自由な時間があるうちに、できる限り楽しんでください。KISTの友達と会って、少なくとも時間の一部でもお互いに英語で話すようにする。英語でゲームをする。レストランで英語のメニューを注文する。生活の中に英語を取り入れることができる小さな方法はいくらでもあります。今までやったことがないことをやってみましょう！選ぶのはあなたです。

Charlie Owen
Secondary ELS Instructor

運動部最新情報

ウィンターシーズン（ISTAAバスケットボール）アップデート

ISTAAバスケットボールシーズン終了前に、『The Comet』冬号が配信されました。

- U-14男子はLFITとCISに勝ったが、ISTAA決勝でコロンビアに33–23で敗戦。
- U-18女子は準決勝でコロンビアに27–26と残念ながら敗戦。
- U-18男子はKAISを64–41で破り（シーズン中の消耗したチームでの敗戦のリベンジ）、試合のほとんどでLFITをリードして45–41で優勝。ISTAAチャンピオンズ2023！

総合的に見て、今シーズンの両チームの努力は素晴らしいものでした！

2023年春のアスレチックニュース

春シーズン終了：KISTのチームは関東平野リーグで春のスケジュールをすべて終え、6月の第1週と第2週でISTAAフットサルシーズンを終える予定です。以下、春シーズンのコーチ陣による短いサマリーをご紹介します！

JV女子サッカーチーム

今シーズン、JV女子サッカーチームは、25名の選手が加入し、過去最大の人数へと成長しました。意欲的であったにもかかわらず、なかなか結果が出ず、トレーニングに励んだにもかかわらず、厳しい結果に終わってしまいました。そうはいっても、参加してくれた選手たちを非常に誇りに思いますし、G9がチームの半分以上を占めているので、将来への大きな可能性を秘めています。また、JV女子サッカーの最後のシーズンとなるG11のメンバーにも感謝したいです。今シーズン、皆さんよく頑張りました。来年、ピッチで皆さんにお会いできることを楽しみにしています！

Coach Buck

MSとJVの男子野球チーム

中学生チーム

今年は、野球経験の少ない初心者を中心としたチームでありながら、関東平野のリーグ戦とトーナメントに参加することが出来ました。リーグ戦では、KISTはYISとサンモールに敗れましたが、ASIJには勝ちました。今回の大会では2連敗してしまいましたが、選手たちは少ない練習時間の中で、身につけた技術を見事に発揮してくれました。中でも、試合の中で他のチームのメンバーと協力し、チームワークを発揮することの大切さを実感しているようでした。この経験を活かして、来年はさらに成長してくれることを期待しています。

高校生のチーム

今年は、関東平野リーグのチームと初めてJVの練習試合を行うことができました。硬式ボールを使ってのプレーは、選手たちにとって初めての経験でした。最初は少し戸惑っていましたが、試合が進むにつれ、スピード感のあるボールの感触に慣れ、活発にプレーするようになりました。今年はセント・メリーズとASIJとそれぞれ1回ずつ対戦することができました。来年はもっと試合数を増やす予定です。ピッチャーになりたい人を特に募集しています。

Coach Nogami

MS女子バスケットボールチーム（関東リーグA・Bプール）

COVID-19による数シーズンにわたるオフと、昨シーズンの限られたスケジュールの後、私たちMS女子バスケットボールチームは、2019年以来となるフルシーズンの活動を再開しました。当然ながら、未経験の選手も多く、Bチームの選手の多くはバスケットボールの経験が全くない状態で入りました。そんな中、彼女たちは、練習のためにいろいろな地域の体育館を回ることになっても、モチベーション高く、練習に励んでいました。

Bチームは、シーズン当初はゆっくりでしたが、徐々に力をつけ、7敗に対して3勝をあげました。そのうちの2つは、とても惜しい負け方でした。

次のページに続く

前ページの続き

来シーズン、このメンバーがさらに成長することを本当に楽しみにしています。

Aチームは、10チーム中、6勝4敗で5位でリーグ戦を終えました。今季の後半、特に最終戦の第2試合でトップ選手の1人が負傷するなど、非常に不運でしたが、素晴らしい結果だったと思います。そのため、QFでは強豪のSeisen（決勝でASIJに敗退）に22-10で敗れました。試合は8対8の同点で折り返したましたが、これはチームがいかによいチームになったかを示しています。今シーズンも彼らを指導することができ、とても嬉しく思います。
Mr. Ota

ISTAAフットサルシーズン（最新）

U-14男子
2021–22年のフットサルで成功を収めたチームの主要メンバーをそのまま維持したことで、U-14男子は再び成果を上げることができると期待が高まっていました。

最初の2試合は、KAISとShinagawa Internationalに勝利を収め、チーム全員が貢献し、勝利を収めました。

最初のチャレンジはBST戦で、前半にリードを奪ったものの、チャンスをものにできず、相手の冷酷なフィニッシュにより、最終的に敗れてしまいました。

LFITで行われたミニトーナメントで、チームは立ち直るきっかけを得ました。それは、LFITとの対戦で、ほぼ全員が得点するという、素晴らしいチームパフォーマンスを見せたからです。第2試合は、昨シーズン、スリリングな試合で唯一惜敗を喫したAobaとの対戦だったのですが、この試合も同様に、両チームがゴールを奪い合う厳しい展開となりました。KISTはAobaのゴールに詰め寄り、足技とゴールキーパーの連携によって、どうにかボールを外に出すことができましたが、KISTが勝ち越しを狙って突き進む中、その隙を突かれ、Aobaが逆転勝利となりました。

このニシーズンプレーし、チームの成功に貢献したG8の皆さん、ありがとうございました。来年のU-18代表へのステップアップを願っています。
Coach Archer

U-14女子
MS女子サッカーチームでの冬の成長を踏まえ、彼女たちはすぐに5面フットサルに順応することができました。これまで、LFITのG9女子チームと親善試合を行い、KIST MS女子（数名の選手が欠場したため、G9女子2名の助力により）は2–1で勝ち、明らかに優位なチャンスを得ました。BSTでの公式リーグ戦では、レギュラーゴールキーパーが不在でしたが、3–3の引き分けで終えることができました。総合的に見ると、彼女たちはまだいくつかの課題を抱えているが、短期間でフォームを整え、ピッチ上で素晴らしい成果を上げてくれた。これから数週間、DSTY、Horizon、UIAと対戦して、どこまで成長したかを実感できると思います。

Mr. Ota

U-18女子
今年、KIST U-18女子フットサルは素晴らしいシーズンスタートを切りました！2–1の成績で、BSTに対する3–2の大逆転勝利を含め、彼女たちはトップ2でシーズンを終える位置にいます。これにより、シーズン終了後のトーナメントに向け、有利になることでしょう！参加した女子選手全員が、特に数回の練習しかできなかったことを考えると、成長し、優秀な成績を収めました。残りの期間、女子は頑張って！最後は大きな勝利で締めよう！
Coach Buck

U-18男子
HSの男子フットサルチームは素晴らしいシーズンを過ごしました。コロンビアと宿敵BSTに勝利し、私たちは大きな期待をいだいていました。その後も厳しい試合が続いたが、チームはこの時点から決意と集中力を高めていた。全てのメンバーが素晴らしい活躍を見せ、チームはその実力を発揮しました。今年一年、彼らが取り組んできたことを誇りに思うべきでしょう。これからのシーズンでの活躍を応援しています。
Coach Smith

フットサルシーズンは、6月の第1週と第2週のトーナメントで終了します。最新情報は次号の『The Comet』でお届けします！

春シーズンを盛り上げてくれたコーチの皆さん、ありがとうございました！

成績、チーム名簿、スケジュール、その他の情報は、KISTコミュニティのメンバーであれば誰でもSchoologyのKIST Athleticsのページで閲覧することができます。

Dennis Ota
Athletics Coordinator

実験科学科スナップショット

実験科学スナップショットへようこそ。ここでは、その名の通り、各学年におけるいくつかの出来事や今学期に探求されたテーマについて、ご紹介しています。

Cesar Cely
Subject Area Coordinator—Science

LSP Grade 6

G6では、心臓構造の理解を深めるため、心臓の解剖を行いました。生徒たちは、メスやピンセットを使って豚の心臓を解剖し、その心臓の室、弁、血管を調べました。この実習では、心臓が現実にどのような形をしているのかを認識し、実践力を高めることにつながりました。また、花の中の構造の機能をより深く理解するために、花の解剖を行いました。この学習により、生徒たちは授業で学んだことと教室の外で日常的に観察していることを結びつけ、花の部分の名称や有性生殖における役割の記憶を強化することができました。

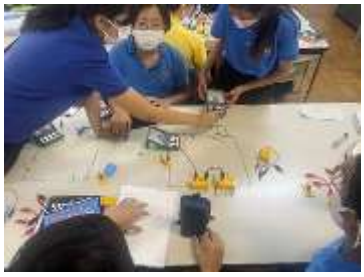
LSP Grade 7

G7では、今学期「ミニサイエンスフェア」に参加しました。少人数のグループで、生徒たちは研究目的を決め、その研究目的を達成するための研究課題を設定しました。そして、研究課題に答えるための調査を共同で設計しました。次に、生徒は実際に実習を行い、データを収集し、そして、データを処理し、その結果を分析しました。生徒たちは、結果から結論を出し、方法を評価し、さらなる調査の可能性について考えました。その結果をポスターにまとめ、審査員の前で発表しました。この研究は、生徒たちの実践力、批判的思考力、協調性を高めるのにとても役に立ちました。

ミニサイエンスフェアのための実験を行う生徒たち

LSP Grade 8

G8では、LSPの教育課程を終え、理論的な知識を現実の応用に結びつけるために多くの実習を行い、知識を定着させました。1年を通して、彼らは回路図を現実の回路に置き換えること、観察可能な相互作用の力関係を図にすること、様々な手段で反応速度を変化させることで工業化学者のように考えることに力を注ぎました。



回路図を使って、電流計と電圧計を使い、部品を正しい向きに配置する生徒たち

IGCSE Biology

G10の生徒たちは、生物学で、複数の生命現象について実践的なスキルを使って理解を示すことに重点を置いてきました。例えば、生体内で起こる主要な反応の速度を測定したり、様々な器官を調べ、構造と機能の関連性を調べたりしました。9年生では、水草のカナダモの光合成の速度について研究しました。更に、腎臓、心臓、肺などの臓器を観察することで、ユニットで学習したことを踏まえ、構造上の特徴を確認する機会もありました。

IGCSE Chemistry

化学では、生徒たちは様々な種類の化学反応について学びました。酸塩基反応を調べ、酸とアルカリを希釈して万能指示薬の虹を作りました。私たちは、さまざまな化学反応について学び続け、水や酸、金属塩との反応から、金属を反応性の高い順に並べる実験を行いました。G10の生徒たちはIGCSEコースを終了しました。コースの最後に、有機化学について知っていることを生かして、香水や香料に使われるさまざまなエステルに名称をつけて、そのエステルを作りました。部屋中が様々な面白いフルーティーな香りで満たされました。

ユニバーサルインジケータで酸やアルカリのpHを調べる

次のページに続く

前ページの続き

IGCSE Physics

今年の物理の授業は、非常に引き込まれ、魅力的なものでした。熱力学から電磁気学まで、どのユニットにもそれぞれの課題と成長の機会があり、私やクラスメイト全員が物理への深い愛着を持つことができました。特に楽しかったのは、「電気と回路」というユニットです。このユニットでは、今まで見たこともないような興味深い回路や部品をたくさん使って実験する機会を得ました。電気の基本的な概念を理解するだけでなく、創造性や問題解決能力も養えました。特に記憶に残っているのは、NTCサーミスタの温度依存性抵抗特性を探るために、自分たちで実験を計画したことです。私の実験では、熱力学のユニットの理解を応用し、熱放散の概念を使って、NTCサーミスタの抵抗温度係数を求める実験を計画しました。私たちのクラスの他の多くのグループも、非常におもしろい実験を計画しました。全体的に、非常に興味深く、学びを深めることができ、物理学への思いをさらに深めることができました。

Zayan (G10A)

マルチメーターと温度計を使用したサーミスタセンサーの抵抗値のデータ収集例

DP ESS

DP ESSでは、生物多様性への影響と、それを軽減するための保全戦略について学びました。私たちが注目した主な脅威のひとつは、外来種の導入と、外来種が競争を激化させたり病気を蔓延させたりして固有種に与える被害でした。生徒たちは、外来種に関する一連のケーススタディと、生物多様性の損失を最小限に抑えるために採用できる戦略を説明する「Wanted」ポスターを制作しました。

生徒の作品例

DP Chemistry

DP化学では、モル計算、速度やエンタルピーの変化の測定など、様々な実験を行いました。生徒が学んだ実践的な化学のスキルは、来年度の自主研究において非常に貴重なものとなります。実験の難易度や複雑さはIGCSEよりもはるかに高く、この1年を通して生徒がスキルを向上させるのを見て、やりがいを感じています。

反応速度の調査

DP Physics

これは、泡と回折格子の写真です。一見すると、透明なプラスチックフィルムにカラフルな素材、石鹸、水、そしてたくさんの種類のものが付着しているようにしか見えないかもしれませんが、別の角度から見ると、まったく新しい色の世界が見えてくるのです。これは、先日物理で勉強した薄膜の干渉と回折の世界です。今回は、この2つの現象を実際に体験する機会を得て、石けんと回折格子を使ってその効果を観察し、魅力的なパターンや虹の色の数々を観測しました。その背景には、光の挙動、特に薄膜やスリットを通過するときの物理的な説明がありました。非常に興味深いレッスンでした！

Kushagra (G11B)

薄膜のスープフィルムや回折格子の干渉を実験する

DP Biology

2年間にわたり、DP Biologyでは、生物界に存在するマイクロシステム、マクロシステムを数多く探求してきました。これらの活動を通じて、生命について学ぶことがいかに楽しいものであるかが強調されました！卵をどうやって変性させるか、気泡はどのように機能するのか、なぜ気泡が細胞膜の優れた類似品なのか。G11では、光が光合成にどのような影響を与えるかを調べるとともに、自分たちで持続可能なメソコズムを作ることに挑戦しました。DPコースでは、顕微鏡による調査や解剖を欠かすことはできません。

学期中は様々な実習が行われた

スタッフ10!

今月の「スタッフ10！」では、2020年8月にエレメンタリーの体育教師として勤務を開始した**Julian Buck**をご紹介します。現在はセカンダリースクールの一部のクラスも担当し、指導にあたっています。

1) 出身地について面白いことを教えてください。
私にとっての故郷は、なかなか難しいものです。私は子供の頃、よく引っ越しをしたので、決まった故郷はありません。しかし、あえて1つを挙げるなら、滞在期間が最も長かった香港です。現地では、一時期、世界で最も人口密度の高い島（Ap Lei Chau）に住んでいたことがあります。

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？
お気に入りの場所はたくさんありますが、ロングアイランド（ニューヨーク州）のシークリフにある叔父の家で、ロングアイランド湾を眺めながらコーヒーとニューヨークの本格的なベーグルを食べるのは、間違いなく世界で一番好きな場所ですね。

3) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。
会えるなら、Leslie Nielsenですね。Leslie Nielsenは、歴代の俳優の中で最も面白い人物の一人です。彼が出演している映画はどれも大好きだし、もし彼が生きていたら、ぜひ会って、彼の前でただ笑いたいものです。Leslie Nielsenでなければ、史上最高のコメディ作家であるMel Brooksに会ってみたいです。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？
私は、人気のある曲のほとんどを、自分がやっていることに関する歌に変えてしまうことができます。幼い息子がいる今、これは特によくあることです。オムツ替えの時間が曲替えの時間にもなっています。

5) ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。
私は二色性、つまり赤と緑の色覚障害者です。

6) あなたにとって一番の宝物は？
長い間、私の最も大切な財産はキャンバスのタペストリーで、私と共に世界中を旅し、私や他の人が作品を追加することで大きくなりました。しかし、今、私が最も大切にしているのは、物ではないのですが、息子です。もうこれに勝るものはなにもありません！

Mr. Buckと彼が誇る「財産」

7) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。
これは難しいですね。私は**コミュニケーションができます**が、同時に**挑戦する人**でもあり、何事にも**信念を持って**取り組んでいます。

8) もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？
そんなことはないと思います。ただひとつだけ、プロとして活躍するチャンスがあったにもかかわらず、真剣に取り組まなかったので、若い頃にもっとスポーツに力を入れておけばよかったと思うことがあります。

9) 自分を高めるために今やっていることは？
私は常に最高の父親であろうと努力しています。子供を持つことで、人生において何が大切で何が必要かという視点が変わり、絶えず向上心を持って取り組めるようになります。

10) ファンに一言お願いします。
皆さんは宿題がありますが、何か楽しいことをしてください！

Turnitin Draft Coach

この度、セカンダリー生徒向けの新しいツール**Turnitin Draft Coach**を試用することになりました。Word Online からアクセスできるこの強力なライティングツールは、生徒のアカデミックライティングスキルを高め、アカデミックインテグリティ：学問的倫理観、を促進することを目的としています。KISTのメールアカウントを使ってMicrosoft Wordオンラインにサインインすることで、すべてのセカンダリー生徒が利用できるようになります。

学生向けのTurnitin Draft Coachはリアルタイムでフィードバックとガイダンスを提供し、文法、明瞭さ、一貫性、オリジナリティ（剽窃の回避）の向上を支援します。また、**類似性レポート**、**引用文献レポート**、**文法ガイド**などの貴重なリソースにアクセスすることができ、生徒の文章作成をさらにサポートします。

学生向けのTurnitin Draft Coachは現在、AIが生成したテキストを識別することはできませんが、教師が使用するTurnitinツールはDraft Coachよりも強力で、AIが生成したテキストをチェックすることで作品が盗用されていないか、またオリジナリティもチェックできることに留意する必要があります。KISTでは、先生から明示的に許可されていない限り、適切な引用を伴わないAI生成テキストの学術課題への使用は許可されていないことをご承知おきください。

私たちは、Turnitin Draft Coachを使うことで、生徒が文章を書く力をつけ、より質の高い学術論文を作成し、自分の能力に自信を持つことができると信じています。保護者の皆様には、Turnitin Draft Coachの機能をよくご理解いただき、お子様のTurnitin Draft Coachの利用をサポートしていただくようお願いいたします。

いくつかの資料は**SchoologyのITサポート（ファミリーページ）グループのリソースページ**でもご覧いただけます。

ご質問や技術的な問題が発生した場合は、遠慮なくITサポートチーム（**it.support@kist.ed.jp**）までご連絡ください。アカデミックインテグリティに関する一般的な質問は、セカンダリースクール副校長のJohn Rose（**john.rose@kist.ed.jp**）までご連絡ください。

IT Support Team

保健便り

食物アレルギー(その1)

今から50～60年前の日本では「食物アレルギー」は、殆どありませんでした。しかし食生活の変化により卵や牛乳、肉類の摂取量が非常に増え、動物性たんぱく質と脂質の多い食事が中心となったことが食物アレルギーを引き起こす原因だと考えられています。本来、体に害のない食物を体が異物と勘違いし、免疫反応が過敏に働き、異物を攻撃しようとしてしまいます。現代の乳幼児の5～10%、学童期以降では1～3%が食物アレルギーがあると考えられています。今回はアレルギーによる症状についてご案内します。次回以降は、アレルギー治療などを予定しています。

アレルギーとなる頻度の高い食物

	0歳	1歳	2～3歳	4～6歳	7～19歳	20歳以上
1	鶏卵(58%)	鶏卵(39%)	魚卵(20%)	果物(17%)	*甲殻類(17%)	小麦(38%)
2	牛乳(24%)	魚卵(13%)	鶏卵(14%)	鶏卵(16%)	果物(13%)	魚(13%)
3	小麦(12%)	牛乳(9%)	ピーナッツ(12%)	ピーナッツ(11%)	鶏卵(10%)	甲殻類(10%)
4		ピーナッツ(12%)	ナッツ類(11%)	そば(9%)	小麦(9%)	果物(7%)
5		果物(9%)	果物(9%)	魚卵(9%)	そば(9%)	

食物アレルギー診療ガイドライン《2018年改訂版》より　　*甲殻類はエビ、カニを含む

症状について

- 皮膚症状(全体の80%以上):かゆみ、むくみ、蕁麻疹、湿疹、皮膚が赤くなる
- 粘膜症状(23%):目のかゆみや充血、鼻汁、鼻づまり、喉や口腔内のかゆみ、違和感やイガイガ感
- 消化器症状(13%):腹痛、下痢、血便、吐き気や嘔吐
- 呼吸器症状(28%):咳、喘息の様なゼーゼー、呼吸がしづらい、息苦しさ
- 神経症状(5%):頭痛、活気の低下
- ※アナフィラキシー(11%):食後、数分～数時間以内に複数の臓器や全身に現れる激しい急性アレルギー反応
  ① 皮膚症状(全身に及ぶ発疹、かゆみまたは紅潮)、粘膜症状(唇や舌などの腫れなど)のいずれかがある
  ② 急速(数分～数時間以内)に呼吸器症状(呼吸困難、気道狭窄、ゼーゼー・ヒューヒュー:ぜん鳴、低酸素血症)もしくは循環器症状(血圧低下、意識レベルの低下)のいずれか1つの症状がある
  (※アナフィラキシーは①のいずれかの症状 ＋ ②のいずれかの症状がある)

  アナフィラキシーショック: アナフィラキシー症状から加えて血圧の低下や意識障害などを引き起こし、ショック状態に陥る。生命を脅かす危険があるので、直ちに救急車を呼び医療機関を受診する。

特殊な食物アレルギーについて

食物依存性運動誘発アナフィラキシー

稀に食物と運動の組み合わせで起こるアナフィラキシーショックで、例として小麦・魚貝類などを摂取した後、休み時間にサッカーなど激しい運動をしたときに蕁麻疹が出現し、その後喉頭浮腫、喘鳴などの呼吸器症状を伴いショック状態に至る場合がある。

口腔アレルギー症候群

花粉症の人が果物(キウィ、メロン、モモ、パイナップル、リンゴなど)、野菜やナッツなどを食べると、口周囲の発赤や口腔内の腫れ、喉の痛みや違和感など生じることがある。しかし大半は暫くすると自然に軽快する。これは花粉症を起こすタンパク質成分(アレルゲン)とこれらの植物由来の食物に含まれるタンパク質の構造に一部共通点(共通抗体)があり、口の中でアレルギー反応が起きることで発症します。最初は口腔内だけであっても、繰り返し摂取することによって、全身の蕁麻疹症状や喘息・アナフィラキシーショックを引き起こすこともあり注意が必要です。

Yukiko Yamazaki
School Nurse

参考資料:
Japanese Society of Allergology. (n.d.). *Food Allergies*. Retrieved May 11, 2023 from https://allergyportal.jp/knowledge/food/

KIST保護者会（CA）ニュース

2022–23開催イベント及びボランティアサポート

- 2022-10-10：コーヒーモーニング（セカンダリー）
- 2022-11-23：ブックセール及び中古制服販売会
- 2022-12-02：クリスマスリースワークショップイベント
- 2022-12-16：ベイクセール
- 2023-01-09：コーヒーモーニング（セカンダリー）
- 2023-01-24：(ISC) 2 Safe and Secure オンラインセッション
- 2023-02-23：コーヒーモーニング（セカンダリー）
- 2023-02-23：CTH トルコ・シリア災害支援募金活動
- 2023-02-27：G10 Amazon Web Services 企業セッション
- 2023-03-13：CAS 及び Service オンライン説明会
- 2023-03-13：G10 IBM 企業セッション
- 2023-04-22：文化学習、英国式アフタヌーンティ イベント
- 2023-04-24：Book Week、オーネスティボックス・ブックセール
- 2023-04-27：Book Week、ライブラリー＆日本語バッグ販売会
- 2023-05-10：保護者トークセッション、ミセス・ブランカ
- 2023-05-17：ESRC/SRC ポップコーン機 実演会
- 2023-05-26：CA コーヒーモーニング、お疲れ様会
- 2023-05-29：中古制服販売会
- 2023-06-12：ESRC（SRC）Popcorn and Movie Monday サポート

全学年の保護者様が
ご参加いただけます！ 2023–24

Sign-up for CA!!

CAからの寄附による新規購入された本のリスト

▶ List of books セカンダリーLMC
▶ List of books エレメンタリー図書室

英国式アフタヌーンティー イベント

CAからの寄贈品・・・

ブックセール 無人販売
Book Week

保護者セッション：イゴールさんのお母様ミセス・ブランカ
（Class of 2019）

CA新役員メンバー2023–24

President
Priyanka Nadkar
Parent of G5 Ashlesha, G2 Aneesha

Vice President
Harumi Yamamoto
Parent of G5 Len

Treasurer
Ikuyo Matsuda
Parent of K3B Reina

Secretary
Fumiko Travin
Parent of K3A Sai, K2B Ori

2022–23年を通して、献身的にサポートしてくださったCAボランティアの皆様に心より、感謝申し上げます。

大学ガイダンスニュース

みんなインターンシップに参加しよう！それとも、そんなものは必要ない？

KISTの廊下では今年、インターンシップの話題で持ちきりでした。この場を借りて、さらに詳しくお話ししたいと思います。**同じような話題として、コンペティションについて議論されたThe Comet 2022年6月号をチェックすることをお勧めします。**

インターンシップとは？

インターンシップは、一般的に最も入門的なレベルの職業体験と考えられています多くの場合、無報酬で、「インターン」と呼ばれるインターンシップを行う人のための学習体験と考えられています。大学卒業後、社会に出て就職するまでの間に行われるのが一般的です。しかし、**最近では、高校生でもインターンシップが盛んに行われています。**

必要なのでしょうか？

いいえ！医療プログラムを目指す学生のみ、患者ケア/顧客サービスの機会がある場所でのインターンシップや実務経験を必要とします。それ以外の人にとっては、インターンシップは、自分自身や興味のあることをアピールするための一つの選択肢に過ぎません。研究の機会、サマープログラム、スピーチコンテスト、音楽演奏なども、同様の価値観です。**学生は、自分にとって大切なもの、自分らしさをどんな形であれアピールしてください。**スタンフォード大学のアドミッションオフィスが発表した下の図からもわかるように、「職歴」は応募の際に考慮する可能性がある部分の一つですが、それ以上に重要なのは、それがあなたの才能・能力や性格・人柄にどう影響する可能性があるか、ということです。

	Very Important	Important	Considered	Not Considered
Academic				
Rigor of secondary school record	X			
Class rank	X			
Academic GPA	X			
Standardized test scores	X			
Application Essay	X			
Recommendation(s)	X			
Nonacademic				
Interview			X	
Extracurricular activities	X			
Talent/ability	X			
Character/personal qualities	X			
First generation			X	
Alumni/ae relation			X	
Geographical residence			X	
State residency				X
Religious affiliation/commitment				X
Racial/ethnic status			X	
Volunteer work			X	
Work experience			X	
Level of applicant's interest				X

インターンシップをするとどんなメリットがあるのでしょうか？

そのメリットは多岐にわたり、在籍期間や会社の方針、会社から割り当てられた仕事内容によって異なります。以下のようなものが考えられますが、これらに限定されるものではありません。

- 履歴書や大学入学願書に記載するための経験。特に関連する分野で、実際のスキルアップの可能性がある場合。
- 将来、同じような会社で実際の仕事がどのようなものかを理解することで、専攻を選ぶ際の参考になる。
- 将来の雇用主候補となる企業との関係を築くことができること。
- プログラム修了による推薦状や証明書を持つことで、将来のインターンシップや仕事、大学への出願に役立てることができる。

素晴らしいことだと思いますが、困難や欠点はありますか？

一般的にはメリットがマイナスを上回りますが、考慮すべき重要なポイントがたくさんあります。

- 東京には多くのグローバル企業がありますが、日本語が不自由な方が日本でインターンシップをするのは、言葉の壁や困難があるかもしれません。
- 企業の勤務日は基本的に月曜日から金曜日なので、夏休みや冬休みにしかインターンシップができないことがほとんどです。
- 企業は、より生産性が高く、知識も豊富で、早期に社会人になれる可能性がある現役の大学生と働きたいと考える傾向があるようです。
- 以上の点から、インターナショナルスクールには、高校生のインターンシップ候補の情報があまり入ってこないので、より個人的なリサーチが必要かもしれません。

インターンシップを検討してみたいという方、次は何をするのでしょうか？

インターンシップを最終的に検討したいご家庭は、次のようなステップを踏んでみてはいかがでしょうか。

- 希望する分野での募集があるかどうか、オフィスに相談してみてください。
- もし見つからない場合は、日本国内外にいる家族や友人とのコネクションを検討しましょう。卒業後の就職もそうですが、初めての就職では、良い人脈が役立つこともあります！
- 最後に、上記の方法がうまくいかない場合、自宅から一番近い現地法人や海外に拠点を持つ法人について調べてみてください。小さなお店のオーナーや、大きなオフィスのPRチームなどに声をかけるとよいでしょう。高校生として、彼らがやっていることに大きな興味があり、物事の仕組みについてもっと学びたい、もし何かあれば小さな仕事でも手伝いたい、と説明する。（相手にとって邪魔にならないように、利益を提供したいものです。この時点で、相手は100%あなたのために便宜を図ってくれていることを忘れず、彼らの配慮に値するものにすることです！）
- また、これは最後の検討事項ですが、オンラインではGoAbroadなどのサイトがオプションを提供していますが、これらのオプションの多くはお金を払った会社のものである可能性があることを念頭に置いてください。

Cialfo奨学金受賞のお知らせ

KISTと大学のソフトウェアパートナーであるCialfo社との奨学金パートナーシップ「Tech for Good Scholarship」が、願わくば長年にわたる成功の第1弾として発表されたことをお知らせします。**今年は2023年卒のHeetが受賞しました。**

次のページに続く

前ページの続き

Cialfoは、大学のリサーチやデータの追跡、場合によっては大学への出願のために使用する基盤です。奨学金を受けるには、以下の基準を満たす必要がありました。

- 全体の推定GPAが3.8以上であること
- 大学の出願に「Cialfo Direct Apply」オプションを利用した
- KISTでの高校生活を通して、学業・人物ともに優秀な成績を収めたこと。

また、Cialfoからは、"大学時代または大学卒業後に、**テクノロジーを活用してどのような社会的インパクトを与えようと考えていますか？**"という質問に答えるという課題も出された。Heetの回答は以下からご覧いただけます。

日本でレンタル可能な電気スクーターが効果的に展開されていないことを受けて、私は「こんなに楽しくて便利で安いものが、なぜほとんど使われていないのだろう」と考えました。そして、「なぜ、何百万人もの高齢化した日本人が、身近にないものを使うだろうか」という問題を理解することになった。WHOの統計によると、2030年には世界人口の6人に1人が60歳以上になると予測されており、私たちはテクノロジーを活用してヘルスケアの低価格化を図り、モビリティを高めるためのイノベーションを起こす必要があります。高齢者を支援する革新的な技術がないことを目の当たりにして、私は高齢化社会にモビリティを高めるより身近なインフラを提供する取り組みに参加したいと思うようになりました。

私はこの問題に取り組むため、高校生のグループを率いて、社会的に受容可能な電気スクーターの代替品を3Dデザインする経験を積みました。既存モデルの欠点を分析し、コンピューター支援設計や数値流体力学を駆使して信頼性の高い試作品を作り、重心を低くしてバランスを取るためにベース部を重くしたり、抵抗力を高めて急加速のリスクを減らすためにステムを太くしたりと、アクセシビリティを高めるための工夫をしました。最近では、オートバイの前輪とエンジンを車椅子に取り付けることで、車椅子をより機動的で便利な移動手段に変え、高齢者や障害者がより自立した生活を送れるようにする仕組みなど、常にデザインの改良と新しい試作品に挑戦し続けることにやりがいを感じています。

大学では、モビリティを強化するための技術的な解決策を探るこのプロジェクトを引き続き推進する予定です。私は、これらのさまざまな試作品を、デジタルから物理的な開発・テストへと移行させたいと考えています。例えば、メイカーズスペースに参加して、3Dプリンターなどの機械を使って、デジタルプロトタイプに命を吹き込むことに興奮しているのです。また、機械工学科の学生として、フォーミュラレースをはじめとするクラブに参加することで、機能的なクルマを製作する技術的なノウハウを身につけることができると確信しています。さらに、高性能の機器を使用して物理的なモデルをテストする素晴らしい機会でもあります。例えば、風洞を使って試作品を空力的にテストすることは、大きな収穫となるでしょう。

最終的には、大学在学中または卒業後に、これらの試作品を完成させ、このプロジェクトを一般に公開することが私の長期的な目標です。私は、高齢化社会に対応した、より多様でしなやかな未来への道を、他の人々とともに切り拓いていくことを強く決意しています。

卒業生の活躍を紹介することはもちろん、在校生には、在学中も、大学受験の時も、そして卒業後も、最高の自分を見せられるような刺激を与え続けてほしいと願っています。

また来年のタームでお会いしましょう。夏の間、何か質問があればメールしてください、出来るだけ早く返信します！

Thomas Waterfall
University Counselor
thomas.waterfall@kist.ed.jp
Office hours: Monday–Friday, 8:00 a.m.–5:00 p.m.
University Guidance Office (3F Secondary Building)

2023年度卒業生

（後列左から）**Rinka, Su Yeon, Junyung, Keanu, Gijeong, In Kyu, Heet, Amey, Samii, Varun, Shin, Hibiki, Gun Hyuk**

（中左から）**Hajime, Hamsika, Nehal, Calder, Shuonan, Akanksha, Reed, Hriday, Tatsunori, Mariko, Devaj, Gini**

（前列左から）**Hinano, Jiaying, Tomoko, Sara, Archita, Shreya, Saanvi, Nidhi, Yuki, Mai, Shona, Eanya**

おめでとう、皆さんのこれからの活躍を祈ります！